

社会福祉法人 津山福祉会

平成30年度 事業報告

「人が好きだから 一生けんめい」

【 行動指針 】

津山福祉会の事業に従事する職員は、津山福祉会の理念に基づき次の事項を実践します。

- ご利用者を選びません。
- ご利用者を大切にし、権利擁護に努めます。
- お一人お一人の満足を目指します。
- 自己の提供するサービスに責任を持ちます。
- 自己の研鑽に努めます。
- 地域を大切にし、地域にお住いの高齢者の方、家族の方のご相談に親切に応じます。

▶ 重点項目

- ＊ 暮らしの継続
- ＊ 高齢者の自律と自立の支援
- ＊ 高齢者を支える家族等の支援
- ＊ 高齢者を支援する専門性の向上と職業倫理の浸透
- ＊ 地域との連携の推進と地域の中の高寿園を意識した広報

▶ サービスの質の向上

- ＊ 看取りケア指針の見直しと多職種協働によるケアとその評価システムの構築
- ＊ 経口維持等高齢者の自立の支援に資するケア
- ＊ 介護過程の展開に沿った根拠に基づくケア
- ＊ 個別のニーズの把握と支援計画に基づく多職種協働
- ＊ 担当指導者を中心としたグループによるきめ細かな新任者育成
- ＊ 育成担当者、リーダー等役割毎の成果の検証
- ＊ 円滑なサービス提供体制についての定期的な協議
- ＊ 事業実施状況及び経営状態の把握と課題の検討
- ＊ 研修の実施、受講、資格取得支援

▶ 地域との連携

- ＊ 地域への情報発信
- ＊ 公開講座、出前講座
- ＊ 交流ホールを活用した地域交流事業の実施
- ＊ 「運営推進協議会」の設置（地域住民の参加要請等）

▶ 生活支援事業

- ＊ 生活支援サポーター養成事業
- ＊ 地域のニーズ把握と生活支援サポーターのマッチング
- ＊ リエゾンソーシャルワーカー（生活支援コーディネーター）の配置
- ＊ 生活支援サポーター養成事業関連における他事業所との連携推進

○ 介護保険事業

急激に高齢化が進む社会の要請にこたえ、高齢者の尊厳の保持、意思決定の尊重を基本に、住み慣れた地域で安心・安全・健康な生活の継続を支援する施設として地域福祉の向上と実践に努めました。

ユニット型特別養護老人ホーム 80床 ユニット型短期入所生活介護 19床
通常規模型通所介護・介護予防通所介護事業所 定員20名 居宅介護支援事業所
生活支援サポーター訪問サービス

○ 地域福祉の推進と地域連携

1) 「生活支援サポーター事業」の実施（独自事業）

高齢者等の生活の困りごとなどの手助けを行う生活支援サポーター事業に取り組み、サポーター活動を通じて高齢者等にサービスの受け手としてでなく、サービスの担い手としての役割をつくり、生きがいづくりや介護予防をすすめました。

高齢者の生活の中でのちょっとした困りごとを生活支援サポーターが解決することによって、地域での継続した生活を行うことができます。また、定期的に生活支援サポーターが訪問することにより、見守りや困ったことがあった時に相談しやすい馴染みの関係も構築されています。月1度以上訪問し、サポーター事業の様子や生活の様子を聞き取っています。

・生活支援サポーターコーディネート業務

津山市の総合事業の協力事業所として、サポーターのコーディネート業務を行いました。また、高寿園の独自事業として、総合事業だけでは対応できない、生活支援を希望されている方に対して、サポーターのコーディネートを行いました。

依頼内容	利用者(総合)	利用者(独自)	活動数(総合)	活動数(独自)	活動数(合計)
ゴミ出し	2	4	35	51	86
買い物代行		1		1	1
話し相手				11	11
掃除	3		34		34
大掃除				12	12
趣味の相手				2	2
合計	5	5	69	77	146

・コーディネート業務に関する相談

内 容	件数
生活支援サポーターの依頼（実施に至らなかったケース）	7件
サポーター事業に関する概要の問い合わせ	3件
合 計	10件

・生活支援サポーター事業の利用者への訪問

内 容	件数
利用料の集金と活動状況の確認	75件
生活支援サポーター利用に関する相談	7件
活動内容の変更に関する相談	3件
その他（活動の打ち合わせなど）	2件
合 計	87件

「生活支援サポーター事業」の実施（日常生活支援総合事業）

津山市の日常生活支援総合事業の協力事業所として、生活支援サポーター訪問サービスのコーディネート業務を行いました。

依頼内容	利用者	活動回数（延）
ゴミ出し	2	35
掃除	3	34
合計	5	69

- 生活支援サポーター訪問サービス事業情報交換会への出席
津山市の生活支援サポーター事業協力事業所の情報交換会に出席しました。

日 時	
30.5.16	13:30～15:00
30.8.21	13:30～15:00
30.11.27	13:30～15:00

- 生活支援サポーターフォローアップ研修（津山市）への参加
日 時：平成30年7月11日（水） 10:00～11:30
場 所：津山市福祉会館 4階 大会議室

2) 送迎付き買い物サロン「ここ楽！」

2018年11月14日（水）からスタートし、毎月第2・4水曜日に、津山市内のスーパーの会議室をお借りして、こけない体操や会食、買い物などを楽しむ取り組みです。地域の移動手段を持たない高齢者を対象にしており、家と会場となるスーパーとの間を高寿園が無償送迎しています。

「買い物は家族がしてくれるけど、自分の欲しいものが買えないから困っている」「家にずっと一人でいると声が出るか不安になる」など、初回の自己紹介で話していた参加者も、数回参加するうちに、「家族に頼みにくいものも、自分で買えるからありがたい!」「ここに来たら話をする事ができるから楽しい!」など、生活に張り合いがでて、不便の解消や生活の質が向上している様子がみられました。また、家から出ることによって消極的だった参加者は、現在、会話の中心となり、外出の意欲が戻った、といった変化もありました。

開催日時： 毎月第2・4水曜日 10:30～14:00

場所： コープ林田 会議室

参加者： 12名



開催日	参加者				ボランティア	備考
	男性	女性	合計	欠席		
30.11.14	1	6	7	1	1	
30.11.28	1	6	7	1	5	
30.12.12	1	6	7	2	5	
30.12.26	0	6	6	4	0	番外編
31.1.9	1	9	10	1	1	
31.1.23	1	11	12	0	1	
31.2.13	1	10	11	1	1	
31.2.27	0	9	9	3	4	
31.3.6	1	10	11	1	0	番外編
31.3.13	1	8	9	3	3	
31.3.27	0	9	9	3	5	
合計	8	90	98	20	26	

《参加者の内訳》

要支援1…（3人） 要支援2…（4人） 総合事業対象者…（0人）

独居及び高齢者のみ世帯の方…（7人）

日中お一人で過ごすことが多い方（日中独居）…（3人） ※複数回答含む

3) 地域交流

- 交流広場 in 高寿園の開催

入居者と地域の方々が和やかに交流を図り、高寿園を身近に感じていただく機会として「交流広場」を開催しました。

日 時： 平成30年11月3日（土） 11:00～14:00

参加者： 入居者、家族、デイサービス・ショート利用者、地域住民 244 名

共 催： とっこクラブ、ひかり学園ひかりの丘、セルプみのり

内 容： 模擬店、遊びコーナー、アトラクション
バザー、抽選会

※協力ボランティア 12名

出 演： 美作大学高知県人会・沖縄県人会
鶴山桜太鼓



4) 子ども応援事業

- おもちゃ図書館の開設

おもちゃ図書館とは、障害のある子もない子もたくさんのおもちゃで一緒に遊ぶ中で互いに育み合う取り組みです。地域の親子連れだけでなく、祖父母や高寿園入居者の家族も来館し、一緒に楽しむ姿も見られ、色々な世代や立場の人が集う場となりました。また、図書館としておもちゃの貸し出しも行いました。

場所：地域交流ホール

日時：毎月第2土曜日 10:00～15:00

開催日	来館者数			ボランティア	貸し出し数
	子ども	保護者	合計		
30.4.14	11	7	18	1	6
30.5.12	13	7	20	3	9
30.6.9	22	14	36	3	10
30.7.14	12	9	21	1	7
30.8.11	4	8	12	0	1
30.9.8	21	13	34	1	12
30.10.13	9	8	17	1	2
30.1.10	8	5	13	1	5
30.12.8	5	3	8	1	2
31.1.12	11	6	17	0	6
31.2.9	10	5	15	1	5
30.3.9	11	5	16	1	5
合計	137	90	227	14	70



- 「福祉のお仕事わくわく探検」の受入

主 催： 岡山県老施協21世紀委員会

日 時： 平成30年8月7日(火) 10:30～15:00

対 象： 小学4年生～中学3年生、保護者

参加者： 6名



- 「福祉の職場見学・体験ツアー」の受入

主 催 : 岡山県・岡山県社会福祉協議会
 日 時 : 平成30年8月2日(木) 12:20~15:30
 対 象 : 小学4年生~中学3年生、保護者
 参加者 : 20名



- つやまっ子かけこみ110番

高倉小学校区の「つやまっ子かけこみ110番」の協力施設として、地域の子どもたちの安全と安心な環境づくりに協力しました。

5) ボランティアの受け入れ

入居者、在宅サービス利用者に季節ごとの楽しみを感じてほしいという思いに加え、サービス利用者のみならず「多くの人の出会う場所」としての行事企画に努めました。年中行事など季節ごとの行事をとおして、入居者、在宅サービス利用者、家族、地域住民等のコミュニケーションの機会となるよう企画しました。慰問やイベント等を地域住民にも案内することで、一緒に参加する機会を得ることができました。また、地域住民の社会参加の場となるようにボランティアの受け入れを積極的に行いました。

団体数 : 21団体（延べ25団体）延べ人数308人

個人 : 8人 延べ人数 24人

※ 別紙1 (行事・ボランティア等一覧)



6) 相談援助事業

高齢者に限らず、生活のお困り事、心配ごと等の相談を受け付けました。

相談窓口：各事業所の相談援助スタッフ

7) 研修会の開催

- 「施設ケア研究発表会」の開催

高齢社会を支える各地域の介護施設で日々行われている介護の質向上に向けた取り組みを発表し、施設相互の経験交流を通して、また外部識者等からの有益な示唆を得て、一層の質の向上を図ることを目的として、趣旨を同じくする8の社会福祉法人が合同で特別養護老人ホーム職員等の事例研究発表会を開催しました。

日 時 : 平成30年7月14日(土) 10:00 ~ 16:00

場 所 : 津山東公民館

参 加 者：地域住民、福祉関係者、利用者家族等 83 名
 発表法人：社会福祉法人正久福祉会 宝塚まどか園（宝塚市）
 社会福祉法人誠和 あじさいのおか牛窓（瀬戸内市）
 社会福祉法人愛隣会 旭水荘（岡山市）
 社会福祉法人愛誠会 唐松荘（新見市）
 社会福祉法人鶯園 千寿荘（真庭市）
 社会福祉法人江原恵明会 ときわ園（津山市）
 社会福祉法人日本原荘（津山市）
 社会福祉法人津山福祉会 高寿園（津山市）



発表事例数：9事例

・「市民講座」の開催

施設の専門職の技術や知識を地域住民に伝え、安心安全な生活と健康づくり等に寄与するため、職員が講師となり、市民講座をシリーズで開催しました。

	日時	テーマ	参加者
1 回	30.7.27 14:00～15:30	感染症対策と熱中症予防	15名
2 回	30.9.28 10:00～15:00	災害支援と避難所～災害支援経験者からお伝えしたいこと～ ハザードマップと避難指示(津山市危機管理室)	22名
3 回	30.11.30 14:00～15:30	ユニット型特別養護老人ホームとその人らしい暮らし	18名
4 回	31.1.29 14:00～15:30	健康な毎日を食事から ～高齢者の食事～	12名
5 回	31.3.28 14:00～15:30	転倒予防 ～高齢者の安全な暮らし～	11名

8) 運営推進会議の開催

津山市北部地域の福祉活動に関わる機関・団体の代表者への活動状況の報告や情報交換を通して、地域に開かれた事業運営及びサービスの質と地域福祉の向上を目的として運営推進会議を開催しました。

委 員：町内会長、民生委員、老人クラブ、愛育委員、消防団、公民館、地域代表
 入居者家族、法人理事 11名

開催日	内容
30.7.12	平成29年度事業報告 高寿園地域福祉事業（市民講座、送迎付き買い物サロン、福祉避難所等） 地域課題について意見交換
31.2.25	高寿園地域福祉事業〔 送迎付き買い物サロン、基準緩和型通所サービス〕 〔 短期集中型通所サービス、高寿園ふれあいサロン 〕 地域課題について意見交換

9) 役員会の開催

適切な事業運営に向け役員会を開催しました。

※ 別紙2 （役員会等の開催状況）

○ 防災対策

* 自主組織による防災訓練の実施

実施日	避難訓練・講習等	講師・協力	利用者	職員
30.4.25	心肺蘇生法・AED研修	津山圏域消防組合1名 団員4名		30
30.5.11	消火訓練 ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練	(株)ガット2名		19
30.11.21	避難（地震想定） ・避難場所までの入居者の移動、誘導		23	44
30.11.22	消火訓練 ・消火用散水栓放水・消火器による消火訓練	(株)ガット2名	1	15
31.2.20	避難訓練(夜間想定)・通報訓練 ・避難所までの入居者の移動、誘導 ・消防署への通報訓練			6

居室等の電気設備点検 月1回 備蓄品（飲料水・食品等）の確保と管理

* 福祉避難所の整備

津山市から「災害時に要援護者の福祉避難所として民間社会福祉施設等を使用することに関する協定書」に基づき福祉避難所の指定を受け、緊急時に備えました。

* 7月豪雨に伴う被災高齢者等の受け入れ

住所地	避難者の状況	受入人数	期 間	備考
津山市	高齢夫婦世帯	2名	7月7日～11日	緊急ショート
津山市	男性高齢者(在宅酸素利用)	1名	7月9日～20日	緊急ショート
鏡野町	高齢夫婦世帯(車いす利用)	2名	7月6日～7日	一般避難

* 西日本豪雨災害支援活動

岡山県災害派遣福祉チーム（DWA T）員活動

避難所での活動

7月16日～20日 真備町 岡田小学校
社会福祉士1名・看護師1名派遣

8月21日～25日 真備町 蘭小学校
社会福祉士1名 派遣

つどいの場での活動

9月6日～7日 真備町 岡田小学校 社会福祉士1名 派遣

災害ボランティアセンターでの活動

7月16日～23日（8日間）倉敷市災害ボランティアセンター 社会福祉士1名 派遣



○ 職員の採用および育成

職員の確保と新規採用に向け、ハローワーク、大学、専門学校等への情報提供及び採用事務をすすめました。

- ・ 学校等訪問活動 大学1校 高等学校4校
- ・ 福祉の仕事フェア等への参加
津山市内6回 延べ面接者数37名 延べ参加職員数13名
- ・ 次代の人材育成として積極的に実習生等を受け入れました。
介護福祉実習・社会福祉士相談援助実習・介護等体験他
6校1団体 37名 述べ436日
夏のボランティア体験
市内中高生 6名 延べ18日

○ 「ワーク・ライフ・バランス」の推進 ～働き続けやすい事業所を目指して～

＊ 両立支援事業

- ・ おかやま子育て応援宣言企業 登録 平成28年8月1日（登録証第28008号）
- ・ 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業 認定 平成29年4月1日
- ・ 両立支援委員会 （委員18名）

職員が仕事と家庭の両立ができ、意欲的に働き続けられる職場環境について検討しました。

開催日	協 議 題	出席者
30.4.3	次世代育成支援対策行動計画策定のためのグループワーク 自習室、雨の日イベント、在宅勤務、産休育休中の帰園日等	11
30.5.8	次世代育成支援対策行動計画策定のためのグループワーク 子どもスタッフの送迎、男性の育休、WLBブック、夏休み課題支援等	12
30.6.5	次世代育成支援対策行動計画策定のためのグループワーク 一般向け見学日、学習室、WLBブック作成等	13
30.7.3	夏休みの子ども出勤について 学習室、夏休み課題応援日	8
30.9.5	夏休みの子ども出勤振り返り、学習室、常設おもちゃ図書館、委員会グループライン、高寿園の取組みPR等	8
30.11.6	県子ども応援人材バンク、図書コーナー、委員会グループラインと情報共有、委員会の愛称	13
31.2.12	平成30年度の振り返り、2019年度事業計画	13
31.3.5	2019年度事業計画、ダブルスマイル(両立支援委員会)PRブック	10

・ 子どもスタッフ

長期休暇等に子どもとともに出勤し、親の職場や仕事に触れる機会を作りました。高齢者とのコミュニケーションやできる手伝いなどの役割を果たすとともに、施設内に明るい笑顔を広げてくれました。



こどもスタッフ出勤状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	8	1	1	11	8	1	0	4	2	2	0	3	41
延べ	18	3	2	41	52	2	0	4	3	10	0	13	148

・ 学習室の開設

子どもスタッフが夏休みの宿題や学習するためのスペースとして学習室を開設しました



＊ メンタルヘルスケア（心の健康づくり）

- ・ 「お母さんの相談室」

外部協力者（民生委員、知的障がい者相談員）とスタッフまたは入居者が、1対1のゆったりとした雰囲気の中で会話をしたり、話を聞いてもらえることで、気持ちが落ち着いたりリフレッシュすることができました。

日 時	お母さん	面談者	人数	日 時	お母さん	面談者	人数
30.4.26	2	介護士	4	30.10.25	2	介護士	1
30.5.24	2	事務員	1	30.11.22	1	介護士	1
29.6.28	1	事務員	1	30.12.27	2	介護士	1

※ 時間は概ね14：00～16：00

- ・ストレスチェックの実施

平成30年11月1日～11月30日 実施者 9名

結果について産業医と共有し、職員のストレスをサポートする体制を整えました。

○ サービス調整会議 ～ご利用者の満足の為に～

1 回開催／月

* 事業全般のサービス向上

- ・身体拘束廃止
- ・事故防止
- ・感染症及び食中毒まん延防止
- ・褥瘡ケア
- ・衛生管理
- ・苦情対応
- ・広報・行事企画
- ・地域交流事業
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・各委員会活動報告（別紙5）

感染症及び食中毒まん延防止、事故防止、利用者の尊厳（身体拘束等廃止）については、特に、職員への研修（下表参照）と対策の検討を行い、法人内の周知徹底を図りました。

職員会議での周知及びユニットごとに研修開催を実施しました。

	研 修 内 容		研 修 内 容
4月	食中毒予防と環境整備・高齢者の脱水予防、身体拘束廃止、紫外線対策	10月	風疹対策、おむつの使い方について正しい言葉づかいについて
5月	食中毒予防と口腔ケア、水分補給事故防止、カビ対策	11月	インフルエンザ対策、感染性胃腸炎について、リスクマネジメントについて
6月	熱中症予防、嘔吐、下痢等の対応手洗いの徹底、夏バテ対策	12月	インフルエンザ対策、健康的な食生活について、疲労・倦怠感について
7月	熱中症予防と対策、水分補給食中毒予防の3原則、ケアの工夫	1月	スタンダードプリコーションリスクマネジメント委員会報告
8月	熱中症予防と疥癬対策ストレスチェックについて	2月	インフルエンザ対策・皮膚の掻痒症ノーリフティングケアについて
9月	疥癬対策と環境整備、オンコールの手順確認、リスクマネジメントについて	3月	感染症情報と対策、転倒予防ボディメカニクスと8つの原理

* 事故防止・リスクマネジメント

事故防止と身体拘束禁止の取り組みを行い、安心して生活できる環境づくりと自立の支援に努めました。

ユニット単位で行うカンファレンス、多職種協働のカンファレンス、専門職のカンファレンスなど、多様な視点で事故の要因を探るとともに、ケアやマニュアルの見直しを行い、事故の再発防止に努めました。

日々の生活のご様子や記録を通して危険を予測したケアに努め、起こった事故は振り返りと分析など事後策を検討して再発防止に努めました。

また、ユニット内で起こった事故は、全ユニット、スタッフに伝達し、事故内容・対応策を共有する事で事故防止を働きかけました。

事故件数：31件

事故後カンファレンス回数：66件

事故内容	件数	事故内容	件数
転倒	16	バルン抜去	1
配薬・服薬などの誤り	5	見守り不足にて屋外へ	1
ずり落ち	1	車輻関係	2
裂傷	3	車椅子からの転落	1
骨折	1	合計件数	31件

・月別事故・事故カンファレンス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計事故数	7	3	3	2	4	2		2	3	2	3		31
特養	3	3	2	2	4	2		2	3	1	3		25
短期	2		1										3
デイ	2									1			3
カンファレンス	12	6	5	6	8	3	3	7	2	8	4	2	66
特養	6	6	3	6	8	3	3	7	2	7	4	2	57
短期	4		2										6
デイ	2									1			3

＊ 身体拘束適正化委員会

利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束をしないケアの実施に努めました。

委員： 施設長、事務局長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、栄養課係長、相談員、作業療法士、管理栄養士、ユニットリーダー、居宅管理者、通所管理者

開催日	協 議 題	出席者
30.6.14	「身体拘束廃止に関する指針」「身体拘束廃止要綱」の作成 研修の企画（時期・内容） 今後の委員会活動について	15
30.9.13	身体拘束適正化について、6月以降の高寿園の現状の共有 第1回研修会の開催について 今後の委員会活動について	11
30.12.13	身体拘束適正化について、9月以降の高寿園の現状の共有 第1回研修会の振り返りと第2回研修会の開催について	12

＊ 衛生管理

「健活企業宣言」に認定 （全国健康保険協会岡山支部：平成28年7月12日）

認定証第2810224号 平成30年度のランク 「A」

腰痛対策 … 腰痛調査、ストレッチ

毎日入居者及び職員のラジオ体操実施

季節ごとの職場環境の不具合の調査と改善、施設・設備点検

メンタルヘルスケア … ストレッチ、ストレス解消法、ストレスチェック等

○ 職員研修システム

＊ 法人内における研修

1) 職員会議における短時間研修 全職員対象

研修内容： 感染症まん延防止 衛生管理 身体拘束廃止
事故予防・再発防止 接遇 倫理 褥瘡ケア スキンケア 等々



2) 各分野における研修

研 修 会 名	開催日	講 師	参加人数
救急救命講習会	30.4.25	津山圏域消防組合職員	30名
食中毒の予防と手洗いの方法	30.6.7	美作保健所職員	39名
企業内家庭教育研修会	30.12.1	岡山県教育委員会	12名
虐待防止研修	31.1.15	市高齢介護課 地域包括支援センター	受講46名 レポート28名
身体拘束適正化研修	31.3.19	施設長	受講14名 レポート82名

3) 施設見学

施設名	見学日	参加人数
特別養護老人ホーム 宝塚まどか園	30.8.27・9.14	10名・9名
高齢者福祉施設 けま喜楽苑	30.9.19	10名
高齢者福祉総合施設 健光園あらしやま	30.10.17	9名
特別養護老人ホーム いやさか苑	30.11.12	10名
特別養護老人ホーム 千寿荘	30.11.28	17名

4) 新任者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講師	参加人数
30.4.2 ～4.21 延16日間	法人理念、岡山県の社会福祉	40	理事長	10名
	高齢者の暮らし、生活の支援・住環境整備 身じたくの介護、入浴介助、排泄の介助 生活の中の危険、衣類の着脱、睡眠の介護等 ユニットケア、施設のルール・設備他	1,870	介護士長 介護主任 ユニットリーダー他	
	心と体のしくみと健康、感染対策、嚥下の理解 高齢者に生じやすい疾患、終末期の理解	1000	看護師長 看護師	
	事業計画、組織、教育体制、事業計画 コミュニケーション、身体拘束虐待廃止	450	施設長	
	食事の理解	330	栄養課係長	
	チームアプローチ	150	主任介護支援専門員	
	尊厳と自立、社会の理解他	250	局長・相談員	
	介護過程の展開、認知症の理解	480	相談員	
	接遇	180	ボイストレーナー	
	ICF、リハビリテーション、安全な暮らし	250	作業療法士	
	救急法	90	消防署員	
	口腔ケア	140	歯科衛生士	
	介護技術	1,170	作業療法士	
	お花見イベント(入居者との関わり) ユニット滞在、振り返り等	1,280		
	総時間数(16日間)	7,680		

5) 中途採用者研修

開催日	主な研修内容	時間(分)	講師	参加人数
30.10.29 ～11.14 延12日間	高齢者の暮らし、生活の支援・住環境整備 身じたくの介護、入浴介助、排泄の介助 生活の中の危険、衣類の着脱、睡眠の介護等 ユニットケア、施設のルール・設備他	660	介護士長 介護主任 ユニットリーダー他	8名
	心と体のしくみと健康、感染対策、嚥下の理解 高齢者に生じやすい疾患、終末期の理解	660	看護師長	
	身体拘束虐待廃止 コミュニケーション、報・連・相	150	施設長	
	食事の理解	90	栄養課係長	
	チームアプローチ	150	主任介護支援専門員	
	就業規則・事業計画	210	局長	
	介護過程の展開	90	介護士長	
	ICF、リハビリテーション、安全な暮らし	240	作業療法士	
	介護技術	930	作業療法士	
	排泄ケア	90	ユニチャーム	
	お花見イベント(入居者との関わり)等	480		
	総時間数(12日間)	3,750		

6) 新任者育成

プリセプターを中心としたチームによるきめ細やかな指導で、職員個々の知識と技術の向上に努めました。

一年間のマンツーマンの指導と、ユニット職員、多職種、幹部職員など、状況に応じた指導場面をセッティングしました。

指導者であるプリセプターのフォローが重要として、施設全体で大切に人を育てる体制を作りました。

・プリセプティーティング	毎月1回開催	延べ参加者数	84 名
・プリセプターミーティング	毎月1回開催	延べ参加者数	65 名

* 外部研修

認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修、ユニットリーダー研修等ケアのスキルアップに資する研修会の受講しました。

中国地区の研修会、全国大会等に参加し、平成30年度の報酬改定や地域公益的取り組み、災害支援及びBCPなどの研修を受講し見地を深めました。

※ 別紙3（研修等一覧）

《平成30年度資格取得者及び受講修了者》

・介護福祉士の取得者	3名	(25.8名)
・介護職員実務者研修	2名	(7名)
・認知症介護実践者研修修了者	4名	(13名)
() 内は全体のH31.3.31の資格保持者及び受講修了者数		

○ 組織強化

* 組織強化ミーティングの開催

毎月1回開催

社会保険労務士をコンサルタントとして、組織体制の強化、各部門の役割分担と連携、事業展開、地域貢献活動の構築等について検討を行いました。

- ・事業の方向性、各部門の役割と連携、経営者の果たす役割について
- ・就業規則の改定
- ・組織体制の改善
- ・人材の確保、労働環境

* 在宅サービス班

高寿園の在宅サービス（デイサービス、ショートステイ、サポーター等）のあり方と、特養を含む各部署間の連携等について情報共有し、地域ニーズにこたえる新たな取り組みについて検討しました。

メンバー： 特養施設長、居宅介護支援管理者、通所管理者、事務局長、看護師長、介護士長、介護支援専門員、栄養係長、作業療法士、管理栄養士、相談員、事務員、居宅介護支援専門員

開催日 毎月第2木曜日

主な内容 在宅サービス事業の連携について
送迎付き買い物サロンについて
津山市総合事業の実施について

○ 平成29年度事業報告会の開催

入居者・利用者、家族及び地域住民等を対象に、事業の実施状況等の理解促進を目的として、所属長や専門職による報告会を開催しました。

日 時：平成30年7月12日（木） 10:00～11:30

参加者： 12名

○ 第三者委員会の開催

本事業所に対する入居者、家族等からの苦情に適切に対応する体制を整えるため第三者委員会を設置しています。年度内の苦情の受付内容と、事故の内容・件数等の報告を行い助言をいただきました

日 時：平成30年5月31日（木） 15:45～16:20

出席者：第三者委員、理事長、施設長、事務局長、事務局次長、看護師長、介護士長、通所管理者、介護士主幹、介護支援専門員、栄養課係長、作業療法士

内 容：苦情の内容及び対応について、事故報告について

第三者委員：弁護士、津山市民生児童委員連合協議会会長、津山福祉会監事

○ 広報活動

入居者・利用者のお過ごしの様子、スタッフの取り組み等、イベントの紹介や日常の様子の発信を随時行い、広く高寿園を知っていただけるよう広報活動に努めました。おもちゃ図書館の利用状況などをリアルタイムに発信する為にツイッターのアカウントも開設しました。

- * 採用者向けパンフレットの更新 * 高寿園だよりの発行 3回／年
- * ホームページ・フェイスブック・ツイッターの更新 随時
- * 研修等講師、外部団体のイベント等への派遣・参加

《特別養護老人ホーム》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。

住み慣れた地域で最期まで、その人らしく、生活できる援助を行います。

- * 個々の利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別化を重視し、個々の自己実現に対し積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 地域に親しまれる施設作りを目指し、地域と密着した事業・サービスを提供します。

○ 職員配置（H31.3.31）

職 名	人 数	職 名	人 数
施設長	1	管理栄養士	1
生活相談員	1	調理員	6
介護士	36.8	栄養士	(3)
介護福祉士	20.1	作業療法士	1
看護職員	5.8	作業療法士(毎水曜日2h)	1
看護師	(4.8)	地域相談員	1
准看護師	(1.0)	事務員	6.5
介護支援専門員	2	運転手・環境整備員	2.6

※人数は常勤換算により計算

() は再掲

○ 医療連携

* 嘱託医

大海 庸世 （おおみクリニック）

隔週 水曜日回診

松下 明 （奈義ファミリークリニック）

隔週 火曜日回診

平井 龍三 （勝北診療所）

隔週 土曜日回診

* 産業医

大海 庸世 （おおみクリニック）

* 協力医師

赤枝 輝明 （津山東クリニック ： 内科、泌尿器科）

* 協力医療機関

積善病院 （精神科、神経科、内科、歯科）

津山第一病院 （消化器科、循環器科、整形外科等）

近光整形外科 （整形外科）

日本原病院 （内科、神経内科、循環器内科等）

* 協力歯科医療機関

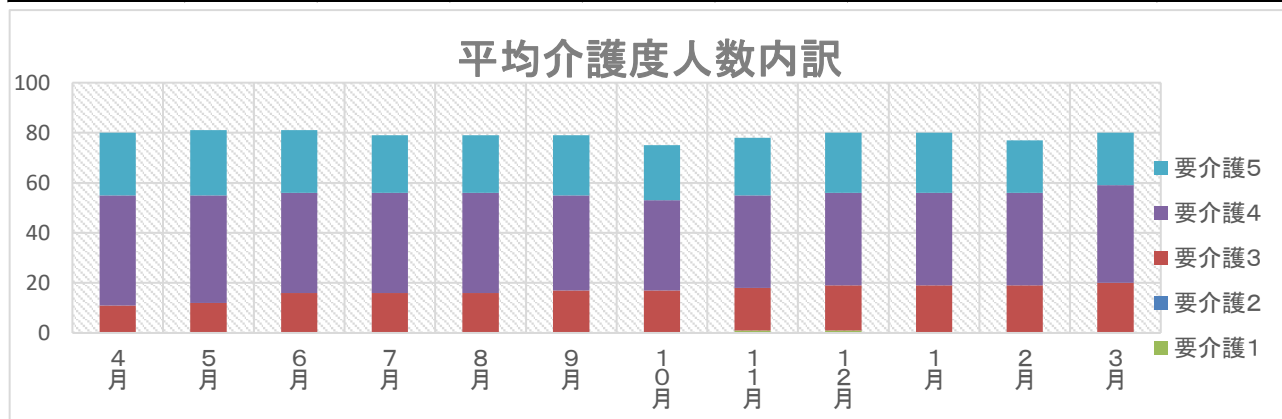
内田歯科クリニック

○ リーガルサポート

竹内俊一弁護士事務所

○ 入居者状況

提供年月日	入居実延べ日数（上段）／人数（下段）						外泊,入院等	
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ日数	人数
平成30年4月	0	0	330	1,318	739	2,387	2	1
	0	0	11	44	25	80		
5月	0	0	371	1,304	786	2,461	11	2
	0	0	12	43	26	81		
6月	0	0	455	1,127	733	2,315	69	5
	0	0	16	40	25	81		
7月	0	0	487	1,164	713	2,364	78	6
	0	0	16	40	23	79		
8月	0	0	495	1,135	713	2,343	81	7
	0	0	16	40	23	79		
9月	0	0	476	1,041	699	2,216	49	5
	0	0	17	38	24	79		
10月	0	0	509	1,052	654	2,215	82	7
	0	0	17	36	22	75		
11月	30	0	494	1,086	637	2,247	60	6
	1	0	17	37	23	78		
12月	10	0	554	1,085	705	2,354	69	5
	1	0	18	37	24	80		
平成31年1月	0	0	588	991	709	2,288	104	9
	0	0	19	37	24	80		
2月	0	0	532	975	571	2,078	80	7
	0	0	19	37	21	77		
3月	0	0	593	1,167	591	2,351	97	6
	0	0	20	39	21	80		
合 計	40	0	5,884	13,445	8,250	27,619	782	66
	2	0	198	468	281	949		



月別入・退居者数

平成29年度末現員	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平成30年度末現員
80	入 居	0	2	2	3	2	3	3	4	3	3	1	3	29	78
	退 居	1	2	3	2	4	6	1	2	2	5	0	3	31	

市町村別（H31.3.31現在）

市町村名	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
津山市	0	0	16	32	19	67
鏡野町	0	0	1	2	0	3
美作市	0	0	3	3	1	7
奈義町	0	0	0	1	0	1
合計（8市町村）	0	0	20	38	20	78

年齢と性別（H31.3.31現在）

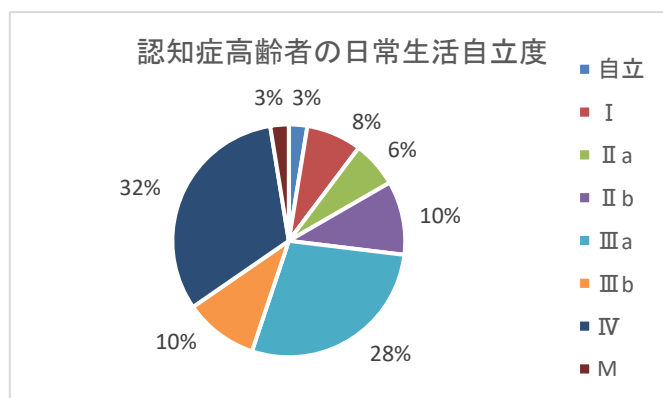
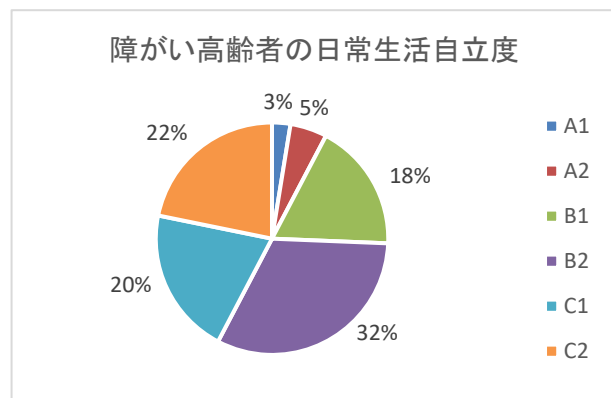
	60歳未満	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100歳以上	合計	平均年齢
男性	0	0	1	1	0	4	7	5	1	0	19	86.3
女性	0	0	0	0	2	9	13	24	10	1	59	90.1
合計	0	0	1	1	2	13	20	29	11	1	78	89.1

障がい高齢者の日常生活自立度（H31.3.31現在）

	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
人数	2	4	14	25	16	17	78

認知症高齢者の日常生活自立度（H31.3.31現在）

	自立	I	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
人数	2	6	5	8	22	8	25	2	78



入居者介護状況（日常生活動作）

日常生活動作			人数	日常生活動作			人数
移動	車椅子		59	排泄	おむつ		40
	歩行（補助具あり）		16		トイレ（夜間おむつ）		17
	歩行		1		トイレ（常時）		19
食事	全介助		21	入浴	特浴		32
	一部介助		13		中間浴		0
	自立		37		個浴		44
	経管栄養		5				

在所期間（H31.3.31現在）

	1年未満	1年以上 ～ 3年未満	3年以上 ～ 5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上	合計	平均在所 期間
男	6	8	4	0	1	0	19	2年4ヶ月
女	19	16	10	13	1	0	59	2年10ヶ月
合計	25	24	14	13	2	0	78	2年9ヶ月

退居者内訳（性別）

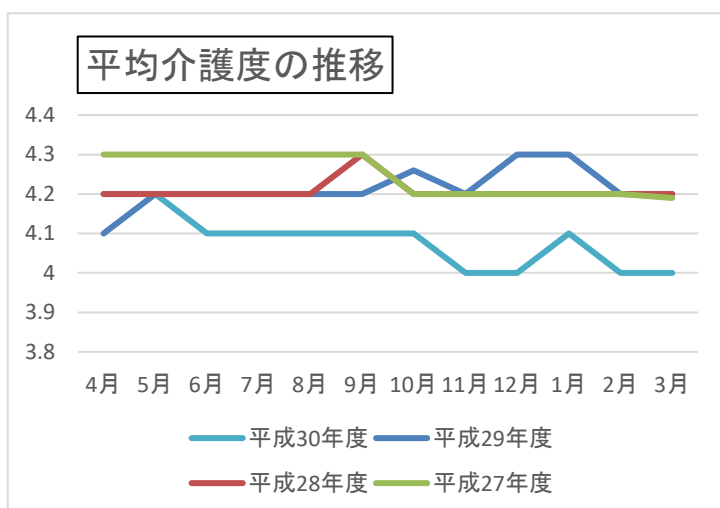
男性	女性	合計
9	22	31

退居者内訳（区分）

死亡	入院	在宅	他施設	合計
22	6	1	2	31

退居者（死亡者）内訳

老衰	脳出血	敗血症	誤嚥性肺炎	両下肢壊疽	心筋梗塞	合計
15	2	1	2	1	1	22



1.生活相談援助

入居者・ご家族の不安やご要望を真摯に受けとめ、サービスの向上に寄与するよう、法人内専門職種の連携に努めました。

入居者の権利擁護に努め、その代弁者としての役割を果たすよう努めました。

地域福祉の拠点としての施設を念頭に、地域の福祉の向上に努めました。

医療・保健・福祉、行政、地域組織等、関係諸機関との連携の強化に努めました。

* 入居者・ご家族の生活相談援助

- ・新規入居者のご家族と密に連絡をとり、不安なく入居ができるよう努めました。
- ・話しやすい雰囲気づくり …相談室を整備し、気兼ねなく話ができるよう配慮しました。
- ・個別にお部屋に訪問して話を伺うなどそれぞれの「暮らし」が継続できるよう努めました。

* 入居待機者へのアプローチ

入居検討会議の開催	18	回
待機者面接	49	件
入居申込前の相談	99	件
入居申込件数	85	件

* 新規入居者受入れに伴うカンファレンス

入居説明・調整	34	件
入居前カンファレンス	30	回
入居時カンファレンス	29	回

《 待機者状況 》 H31.3.31

要介護度別

要介護度	人 数
要 支 援	2
要 介 護 1	5
要 介 護 2	8
要 介 護 3	29
要 介 護 4	16
要 介 護 5	15
更新中・未確定	1
合 計	76

居所別

居 所	人 数	居 所	人 数
在 宅	30	養護老人ホーム	1
老人保健施設	10	グループホーム	5
有料老人ホーム	3	特別養護老人ホーム	3
軽費老人ホーム	2	入院	21
サービス付高齢者住宅	1		
合計		76	

＊ 医療・保健・福祉、行政、地域等関係機関との連携

- ・ 困難ケースにおける行政、居宅介護支援センター、福祉用具貸与事業所、医療機関等多機関との協同カンファレンス 2件 2回

- ・ 施設を退居して自宅へ帰る支援

在宅復帰をする入居者が、退所後も安全にご自宅で過ごしていただけるよう、担当の施設ケアマネと作業療法士とともに自宅訪問を行いました。また、居宅のケアマネなど他職種が集まってカンファレンスを行い、どのようなケアが必要か話し合いました。

2.介 護

入居者一人ひとりに満足・安心していただけるように、心身の状況、性格、適応性、理解力等を正確に把握するよう努め、施設サービス計画書（ケアプラン）に基づく統一されたケアの実施に努めました。また日常の生活を記録して職員間で共有し、支援目標やケアの見直しを行うなど、より適切なケアを追求しました。

暮らしの継続を基本とするケアを目標に、入居者の気持ちを尊重した関わりを行い、ご家族との連携を心掛けました。個別ケアの充実を図るため24Hシートの更新を行ない、常に適切なケアを提供しました。

清掃についての意識を高め、心配りが心磨きである事の浸透に努めました。清潔な環境の中で居心地の良い暮らしと働きやすい環境を作りました。

移転後3年が経過して、ユニット独自の特色も見えてきた中、施設ケアの統一が課題となり、特色を生かしつつケアの質の低下を招かないよう情報共有を密に行ないました。

＊ 入居者が望む生活の実現と個別ケアの実施

入居をお迎えする段階から、アセスメントを十分に行い、その人らしさを追求したケアを検討しました。

入居後は多職種が連携して、ケアプランに基づいたケアを展開しました。

毎月の「生活のご様子」をご家族へ発送しました。

＊ 入居者一人ひとりのかけがえのない生命の確保

水、食事、排便、運動を基本として、介護の専門職として根拠に基づいたケアを実施しました。

- ・ 一日1,500～2,000cc以上の目標を設定して、個々の嗜好や個別の時間帯や量を把握して、目標達成できるよう工夫をしました。
- ・ 自然な排便が行えるように、センナ茶を飲用して薬剤に頼らないケアを行いました。
- ・ 食事の常食化への移行と維持に取り組みました。

平均水分量



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均水分量	1541	1515	1485	1457	1455	1390	1435	1418	1454	1434	1433	1481

- ＊ 入居者が意欲を持ち生きる喜びを感じてもらえる支援
 食事目的の離床にとどまらず、日中のアクティビティをユニット単位で工夫しました。生活の中で楽しみを見だし生きる喜びや意欲につながる支援を行いました。また、ユニットの外での入居者間や職員との交流の場を作りました。

- ・ ユニット外へのお出掛け
- ・ サンプルームでのカラオケ
- ・ 施設全体の行事に向けての作品出展
- ・ ユニット体操
- ・ 個別アクティビティメニュー作成と実施

- ＊ 入居者の生活に潤いを与えて豊かにする支援
 家族や友人とゆったりと面会いただけるようくつろげる空間づくりに努めました。

家族からの外出の申し出も増えました。
 ユニット毎に計画した外出の支援や四季を感じる行事は、家庭的な雰囲気楽しんでいただきました。ユニットでの長寿をお祝いする誕生会は、家族でお祝いする誕生会のように温かさあふれ、入居者と家族に喜んでいただけました。
 移動スーパーやパン屋の訪問販売は、買い物に出かけて選ぶ楽しみを感じ、訪問理美容師が訪れるヘアサロンでは、お気に入りのカットやカラーをしてもらい、おしゃれをしながらの楽しみも感じていただきました。

- ・ とくし丸（移動スーパー） 毎週金曜日
- ・ ポエムパン（移動販売） 毎週水曜日
- ・ ヘアサロン（理美容師の訪問理美容） 月2～4回

※ 別紙4（ユニット報告）



	カット	パーマ	カラー	顔そり		カット	パーマ	カラー	顔そり
4月	28	1	3		11月	24		4	2
5月	27		2		12月	24	1	3	
6月	27		4	1	1月	23		3	
7月	19		4		2月	18		5	
8月	28	1	2	3	3月	28	1	3	2
9月	21		2		合計	289	4	38	8
10月	22		3						

《外出の状況》

月	入居者数	外出先	延べ日数	月	入居者数	外出先	延べ日数
4月	4	自宅	4	10月	1	ドライブ	4
	1	ドライブ	4		1	自宅	1
	1	外食	1	11月	2	ドライブ	5
	1	美容院	1		2	自宅	2
	1	墓参り	1		1	法事	1
5月	1	ドライブ	2	12月	1	ドライブ	4
	1	外食	1		1	自宅	1
6月	1	ドライブ	5		1	外食	1
	3	自宅	3		1	美容院	1
	1	外食	1	1月	5	自宅	8
7月	1	ドライブ	4		4	外食	4
8月	5	自宅	5		1	葬儀	1
	1	ドライブ	3	2月	1	ドライブ	1
	1	外食	1		2	自宅	5
	1	美容院	1	3月	3	ドライブ	3
	1	墓参り	1		2	ドライブ	4
	1	ショッピング	1		2	ショッピング	2
9月	1	ドライブ	3		1	自宅	1
	2	自宅	2		1	法事	1
	1	外食	1				

《外泊の状況》

月	入居者数	外泊先	泊数	月	入居者数	外泊先	泊数
5月	1	自宅	2泊3日	11月	1	自宅	2泊3日
6月	1	自宅	1泊2日		1	自宅	1泊2日
7月	1	自宅	2泊3日	12月	1	自宅	3泊4日
8月	1	自宅	2泊3日	1月	1	自宅	2泊3日
9月	1	自宅	3泊4日		1	自宅	1泊2日
10月	1	自宅	2泊3日	2月	1	自宅	1泊2日
	1	自宅	1泊2日	3月	1	自宅	2泊3日
					1	自宅	1泊2日

《面会者の状況》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
400	406	412	359	438	406	412	348	440	434	217	357	4,629

ご家族でゆったりと過ごせる環境・雰囲気づくりに努めました。穏やかで嬉しそうにご家族と話をして過ごされるなど、ご家族だけの時間を大切にすることでご家族にも安心していただけたと思います。

また、ご家族とも馴染みの関係性を築くことで、おうちで過ごしていたころの様子やご希望等を伺うことができるなど、ユニットでのケアに理解と協力をいただきました。

* 適切なケアの提供と事故のない安全な施設生活の確保

入居者の自立した生活の支援のために必要な事項、取り組みの状況をユニット間で共有し、課題の解決に向けて協議しました。

入居者の状態変化に伴うカンファレンス、事故発生後の再発防止カンファレンスを随時開催しました。事故防止の考え方の知識が身につく、適切なケアが提供できるようになりました。

ユニットリーダー同士が課題を共有したり、取り組みの進捗について情報交換することで、全体的なケアの方向付け（ケアの理念に基づくケア）ができ、各ユニットに持ち帰って施設全体の浸透に努めました。

- ・ ユニットリーダー会議 毎月1回開催
- ・ ユニットミーティング 2ユニット毎 随時

* ユニットケアの充実に向けた取り組み

自立支援を基本とした個別ケアを実施しました。

- ・ 24Hシートの作成、改変、基づくケアの実施
ケアの中で変化に気づき、タイムリーな更新を行ないケアの向上に努めました。

3.その人らしい穏やかな生活の実現のために～多職種協働～

- ・ ご本人・ご家族の意向をくみいれて、ご本人がご本人らしく、穏やかな日常生活を送れるように、施設サービス計画書を作成しました。

体調維持、身体機能の維持・向上、日常生活のなかでの楽しみや生きがい等を考えて作成しました。

- ・ サービス担当者会議を開催して、多職種間で協議しました。

入居時はご家族が出席されて会議を開催しました。

在宅復帰時は、入居者・ご家族が出席されて、会議を開催しました。

- ・ 定期的なモニタリングを行い、入居者の状況や支援の実施状況を把握しました。

* サービス担当者会議開催の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期	6	7	11	11	11	6	10	3	6	8	10	12	101
入居時		2	2	3	2	3	3	4	3	3	1	3	29
退院前												2	2
看取りプラン	1	2	1	2	1								7
在宅復帰									1				1
合計	7	11	14	16	14	9	13	7	10	11	11	17	140

4.生活の中の機能訓練

日常生活の中で入居者自身が持つ心身機能を生かし、安心した生活が送れるよう支援しました。定期的に身体機能や日常生活の評価を行い、お一人お一人に合った計画書を作成しました。また、入院等で心身の状態や日常生活に変化があった場合はその都度見直しを行いました。計画書に基づいてリハビリ会議を行い、多職種間で協議し、協働して行いました。

・リハビリ会議の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	32	28	20	29	27	19	31	23	24	30	24	22	309
入居時		2	2	2	2	3	3	4	3	3	1	3	28
状態変化	1	1		1	1		1	1	1	3	4	3	17

※ 状態変化（入院等による変化）による計画書作成

・グループ活動の実施

リハビリを目的にしたカラオケを行いました。（リハカラ会の実施。毎週水曜日）

- ・他者との交流（他ユニット間の交流）
- ・発声による嚥下機能の維持、向上
- ・離床する機会を持つ
- ・楽しむ場の提供
- ・発語の促し
- など

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	10	10	8	21	16	18	36	9	28	13	32	0	201
実施回数	1	1	1	2	2	2	4	1	3	2	3	0	22

・長寿の会

長寿の会は体操や茶話会を通して体力の維持、入居者同士の交流を図ってもらう活動です。毎週月曜日に小規模で実施していますが、参加者からいつも楽しみにしているとの声をいただいています。

時 間：13:30～15:00

実施回数： 14回

参加者： 述べ87名

開催日	参加者	開催日	参加者
30.11.19	6	31.1.28	5
30.11.26	6	31.2.4	7
30.12.3	5	31.2.11	7
30.12.17	6	31.2.18	5
30.12.24	6	31.3.4	7
31.1.7	6	31.3.18	7
31.1.21	7	31.3.25	7



5.看 護

入居者の多くが複数疾患を持ち、高齢化と共に身体状況が重度化しています。日常の健康観察をこまめに行い、医療機関の協力を得て疾患の早期発見ができるよう健康管理に努めました。各職種と連携して状態を把握し、残存機能を最大限に活用できるよう援助しました。施設内感染症対策、食中毒の予防等、日常生活における環境衛生の保持に努めました。褥瘡ゼロの実現に向けたケアに努め、改善しました。高齢者の栄養状態、体力低下などの影響に対するアプローチ等に課題が残りましたが、引き続き褥瘡ゼロに向けてケアを継続していきます。

* 健康管理

健康で苦痛のない日々を送れるように一般状態のチェックを行い、医療機関への報告、受診を速やかに行いました。

・健康診断

職員（パートを含む全員）	平成30年5月～6月	89名
夜勤職員	平成31年1月	28名

入居者 健康診断実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
体重測定	80	79	78	79	77	74	73	78	78	77	77	78	928
身長測定	1	2	3	3	3	2	3	4	3	3	2	3	32
尿検査	71	7	3	4	3	4	58	4	6	3	2	56	221
検便	71	11	6	3	3	18	21	11	7	3	41	3	198
血液検査	5	3	3	6	78	10	10	6	2	3	5	5	136
胸部レントゲン	8	7	10	11	10	13	66	12	13	11	17	10	188

※ 血液検査(中性脂肪、HDL,LDL,AST,ALT,γ-GT,空腹時血糖,A1c)

・ インフルエンザ予防接種

平成30年10月24日～10月31日

全職員 87名

平成30年10月23日、24日、26日 及び 11月13日 入居者 71名

・ 手浴・足浴

手浴・足浴（フットケア）をすることで、循環不全を予防し、四肢末端への血流改善につながるなど体調を整えるために実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	10	31	30	14	18	16	16	10	10	5	5	7	172

＊ 施設での医療

重度化、高齢化が進んでいます。入居者の状態観察を行い、異常があれば早めに医療機関の受診をしています。夜間の対応も含まれています。

内科的な疾患だけではなく、専門病院への受診が多くありました。

※ 施設内月別治療状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	531	558	561	603	579	671	722	612	594	498	520	672	7,121
内科	266	286	274	320	298	339	363	348	181	224	306	366	3,571
眼科	330	370	372	421	496	540	540	563	479	354	408	397	5,270
皮膚科	521	527	630	630	630	831	831	852	690	735	785	913	8,575
歯科	10	2	4	10		4	2		1	7	6	2	48
医師来診	9	6	13	13	14	19	11	19	8	14	8	11	145
医師特診	3	2	5	5	8	15	4	13	36	10	2	9	112
経管栄養	120	124	120	124	124	120	145	148	155	135	120	155	1,590
留置カテーテル	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1		23
救急手当て	18	21	68	68	43	90	92	73	36	43	39	21	612
定期与薬	2177	2263	2118	2263	2110	2034	2100	2043	2064	2053	1824	2092	25,141
その他薬	276	239	271	307	308	271	290	271	228	248	210	266	3,185
血圧測定	158	106	169	122	127	137	123	137	151	150	148	177	1,705
検尿	71	7	3	4	3	4	58	4	6	3	2	56	221
検便	71	11	6	3	3	18	21	11	7	3	41	3	198
血液検査				6	10	10	56	6	2	3	5	5	103
レントゲン	8	7	10	11	10	13	66	12	13	11	17	10	188
リハビリ	7	14	9	9	9	9	16	9	10	8	8	14	122
終末処置	1	2	2		2	6		1		3		1	18
合計	4581	4547	4637	4921	4776	5133	5442	5124	4663	4504	4450	5170	57,948

※ 施設内治療内訳

科 目	治 療 内 容
外 科	ガーゼ交換（一般傷、褥瘡）湿布
内 科	臨時与薬、酸素吸入、内科的治療注射、吸引、吸入、貼付薬
眼 科	点眼、軟膏塗布
皮 膚 科	軟膏塗布
留置カテーテル	膀胱洗浄、経管栄養、バルーンカテーテル交換
救 急 手 当	気道確保、応急処置
その他 与薬	緩下剤、浣腸、臨時与薬

※ 施設外受診状況

科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
眼科				1		5	8	4	4	4	2	4	32
皮膚科	3	6	8	6	8	16	10	3	6	3	5	1	75
歯科	3		2	3		1	1		1	2	2	6	21
精神科	2	3		4	5		2	2	2	1	1	1	23
泌尿器科	3	6	6	4	6	4	9	5	6	4	5	5	63
内科	6	3	5	7	10	9	5	8	4	6	9	7	79
外科		2	4	1	2	5	2	4	10	1	11	2	44
整形外科	1	1		2			2		1	2	1	1	11
合計	18	21	25	28	31	40	39	26	34	23	36	27	348
述入院数		9	68	76	79	46	77	59	68	99	79	95	755

※ 入院の状況

	入院理由	人数	入院延日数		入院理由	人数	入院延日数
5月	類天疱瘡	1	9	11月	尿路感染症	1	1
6月	類天疱瘡	1	21		腎結石	1	12
	左脳幹部出血	1	19		右大腿骨骨折	1	10
	右脳梗塞	2	13	12月	胆のう炎・難治性瘻孔	1	4
7月	老衰	1	15		右大腿骨骨折	1	11
	老衰	1	31		左脳梗塞	1	27
	胆のう炎	1	14		尿路感染症	1	26
	肺炎	1	9	1月	左脳梗塞	1	31
	誤嚥性肺炎	1	1		尿路感染症	1	31
8月	左脳幹部出血	1	21		左大腿骨頸部骨折	1	21
	老衰	1	28		心不全	1	14
	肺炎	1	1		誤嚥性肺炎	1	1
	誤嚥性肺炎	1	22		腎結石	1	1
	敗血症	2	17	2月	尿路感染症	1	28
9月	胆のう炎・難治性瘻孔	1	11		左大腿骨頸部骨折	2	11
	敗血症	2	15		誤嚥性肺炎	1	17
	胆のう炎・難治性瘻孔	1	30		右大腿骨頸部骨折	1	3
	心不全	1	1	3月	左脳梗塞	1	20
10月	胆のう炎・難治性瘻孔	1	31		尿路感染症	1	30
	心不全	1	8		左大腿骨頸部骨折	1	11
	乳癌	1	28		右大腿骨頸部骨折	1	5
	尿路感染症	1	8		胸・腹水	1	23
	腎結石	1	2		老衰	1	26
11月	胆のう炎・難治性瘻孔	1	30	合計		52	755
	乳癌	1	6				

＊ 状態の把握と緊急時の対応

日々の心身状態の観察と状態把握の共有を図り、サインを見逃さないようにユニットに指導を行いました。

＊ 夜間オンコールマニュアルの作成を行い、介護スタッフから夜間の報告がスムーズにできるようにしました。適確な報告を受けて、看護師は応急的な手当てを伝えることができたと思います。

＊ 看取りケア

多職種協働で入居者が最期に何を望んでいるかを考える場を設けました。最期の時まで経口摂取が実現できるようケアをしました。

- ・ 入居者が自分の部屋でご家族・職員に見守られながら旅立ちができるように援助しました。
- ・ 入居者が痛みの訴えなく自然に穏やかな旅立ちができるように、関わりを継続しながら細やかな対応を心がけることで旅立ちの前の不安を取り除く一助としました。
- ・ 看取り期とされた入居者に対し、ユニット職員、専門職が連携して穏やかに旅立ちができるようケアの方法や方針を共有するカンファレンスを行いました。ご家族も参加され、揺れ動く思いやご希望などを職員と共有することで悔いの少ない看取りを行うことができました。

・ グリーフケア

旅立ちの後、ご遺族とともに故人を振り返る機会を持ちました。

ユニットの職員、専門職がご遺族とともにそれぞれの故人の思い出を語り、近親者を失う喪失感や心の痛みに寄り添いその軽減に努めました。

ご遺族だけではなく、スタッフもケアを振り返ることができ、互いに気持ちが穏やかになりました。看取り期から退居の日まで、細やかなカンファレンスや情報共有を行うことで、最期の日までご家族と協力してケアをすることができ、故人が旅立った後の心の負担の軽減ができたように思います。

《看取りのカンファレンス》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者	2	5	5	2	1	5	2	1	1	3	2	1	30
回数	2	6	5	2	1	5	2	1	1	3	2	1	31
出席者	17	34	11	7	3	19	12	3	3	8	5	4	126

《グリーフケア～振り返りのカンファレンス》

	出席者	回数	参加者数(述)
5月	家族・ユニットリーダー・看護師長・局長	1	5
6月	家族・ユニットリーダー・相談員・看護師長・施設長	2	13
7月	家族・ユニットリーダー・ケアマネ・看護師長	1	5
8月	家族・ユニットリーダー・看護師長・局長	1	4
9月	家族・ユニットリーダー・看護師長	3	11
10月	家族・ユニットリーダー・相談員・看護師・局長	2	8
11月	家族・ユニットリーダー・看護師・局長	1	4
1月	家族・ユニットリーダー・看護師長・局長	2	9
3月	家族・ユニットリーダー・相談員・ケアマネ・看護師長・施設長	1	11

6.食事・栄養管理

お一人お一人の栄養状態や食事摂取状況に応じた個々の栄養ケア計画に基づき、入居者の健康の保持増進に努め、低栄養の改善、予防、安全で衛生的な食事の提供ができるよう努めました。

3食ユニットでの食事作りを行いました。真空調理法などの新調理法の導入を行い、介護士が朝食を提供します。卵、肉、魚とバランスのよい朝食を実施しました。

＊ 給食状況（H31.3.31）

主食状況	人数
ご飯食	40
粥食	21
ムース食	10
パン食	1
経管栄養	5

◎食事と経管併用の方1名

副食状況	人数
普通食	24
粗キザミ食	4
キザミ食	5
超キザミ食	1
ソフト食	18
ムース食	20

療養食	人数
糖尿食	4
肝臓病食	1
減塩食	8

	人数
入院	2

＊ 行事食等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行事食	1	1	1	2	1	1	1	1	1	2	0	1	13
希望食	3	3	5	6	6	2	5	5	4	9	9	9	66
複式献立	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

ユニットに関係なく入居者が集まって楽しく過ごせる行事になるよう食事からの支援をおこないました。1月の新年会、9月の敬老会等の大きなイベントの時には地域センターや交流ホールで入居者同士がカフェや食事を楽しみながら交流することができました。

本年度は初の試みで、鍋パーティーを行いました。食事形態の近い人をユニット関係なく交流ホールに出て頂き、1つの鍋を5、6人で囲み職員も一緒に食事を摂りました。今回は形態別に分けましたが、具材によっては形態関係なくできそうなことがわかりました。今回の経験を活かし、来年に繋げていきます。

※ 別紙1 行事・ボランティア一覧



＊ 1人1日当たり給与栄養量

	エネルギー	タンパク質	カルシウム		エネルギー	タンパク質	カルシウム
4月	1364	54.0	463	10月	1470	53.7	445
5月	1436	54.4	459	11月	1449	53.2	435
6月	1438	53.4	456	12月	1459	53.5	436
7月	1411	53.0	465	1月	1446	53.8	441
8月	1460	54.1	435	2月	1416	54.0	442
9月	1459	53.3	439	3月	1416	50.7	430
基準値	1458	42.4	524	基準値	1456	42.4	524

※ 基準値は入居者の状態に併せて半期ごとに算出します。

＊ 残菜調査

献立作成時のメニューの組み合わせや調理方法等に活用していくために2ユニット毎1週間の残菜調査を行いました。

朝食・昼食・夕食時に毎回主食と副食の残量をそれぞれ計量しました。

主食は全体的に残量が少なく、副食は残菜が多く見られる日もありました。

実施日： 11月1日～28日

ユニット9・10から順次1週間ごとユニット3・4まで調査実施

残菜調査の結果としては、多量の残菜もなくどのユニットもほぼ食事摂取できていました。傾向としては卵料理の日に一品多いためか残菜が多いように見受けられました。今回の結果を活かしてより良い献立作りを行っていきたいと思います。

* 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントにより入居者の栄養状態をリスク別に振り分け栄養状態の改善・予防に努めています。

低栄養状態のリスク判断材料として、体重・血液検査・喫食率・褥瘡・栄養補給法などの項目があります。

《栄養ケア会議》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
プラン数	30	25	29	26	24	33	36	26	24	30	25	23	331

・ 個別栄養ケア

個別の課題に対し、入居者や家族の希望に沿う食事が提供できるよう、多職種で協議・協働しました。

- 1) 食事やお好きな麺をお勧めしてもほとんど食べられず、体重減少が続いていた。食事量が多くて食欲がわからないのではないかと考え、提供量を半分に減らし、栄養補助食品を1日1本から3本に増やしました。食事摂取量は変わりませんが、栄養補助食品はしっかりと食べられており、少しずつ体重が増加しています。
- 2) ソフト食の副食が硬いと残されるため、ソフト食・ムース食それぞれ5日ずつ提供して喫食量を敬測しました。喫食量に大差なかったため、主食(ご飯)の量を増やしました。ご飯の提供量が増えると副食の摂取量が増え、ほとんど残されなくなりました。
- 3) ソフト食の副食が硬いと残されるのでムース食を試すと完食されました。ご本人は「副食はムースが食べやすい」と話され、ご家族も「食べられるものを食べてくれれば」とおっしゃったので食事形態を変更しました。その後も完食され、体重も増加しています。

・ 食形態別低栄養状態リスク判別 (H31.3.31)

	普通食	粗キザミ食	キザミ食	超キザミ食	ソフト食	ムース食	経管栄養	合計
低リスク	13	1	2	1	7	2	0	26
中リスク	10	3	3	0	9	13	4	42
高リスク	1	0	0	0	2	5	0	8

・ 高リスク判定内訳 (H31.3.31)

	体重減少	血清アルブミン	喫食量	栄養補給法	褥瘡
人数	2	6	0	0	0

・ 栄養補助食品使用の目的 (H31.3.31)

補助食品のタイプ	カロリー保持	体重低下	褥瘡の改善
①亜鉛強化ジュース	2	0	0
②高カロリーゼリー	0	2	0
③高カロリーゼリー(ジュレ)	1	0	0

・ 栄養補助食品使用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
①	2	2	1	1	3	3	3	3	3	2	2	2	27
②	1	1	1	1	1	1	2	4	4	4	2	2	24
③	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

栄養ケアマネジメントの一環として栄養補助食品の導入を行っています。食事量の低下や褥瘡による必要栄養量の増加に対応します。栄養補助食品の種類はジュースタイプとゼリータイプがあります。

《短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護》

【運営方針】

全てのご利用者に満足して頂ける高品質の生活支援サービスを提供します。
在宅生活の継続に向け、その人に合わせた自立の支援を行います。

- * 個々のご利用者がそれぞれの「暮らし」が継続できる「ユニットケア」を行います。
- * 個別ケアを重視し、残存能力の活用及び維持に向け積極的にアプローチを行います。
- * ご利用者個々の安全で快適で健康的な生活の実現を目指したサービスを提供します。
- * 他機関と連携し介護負担の軽減に向けて積極的な受け入れに努めます。

○ ショート職員配置 (H31.3.31)

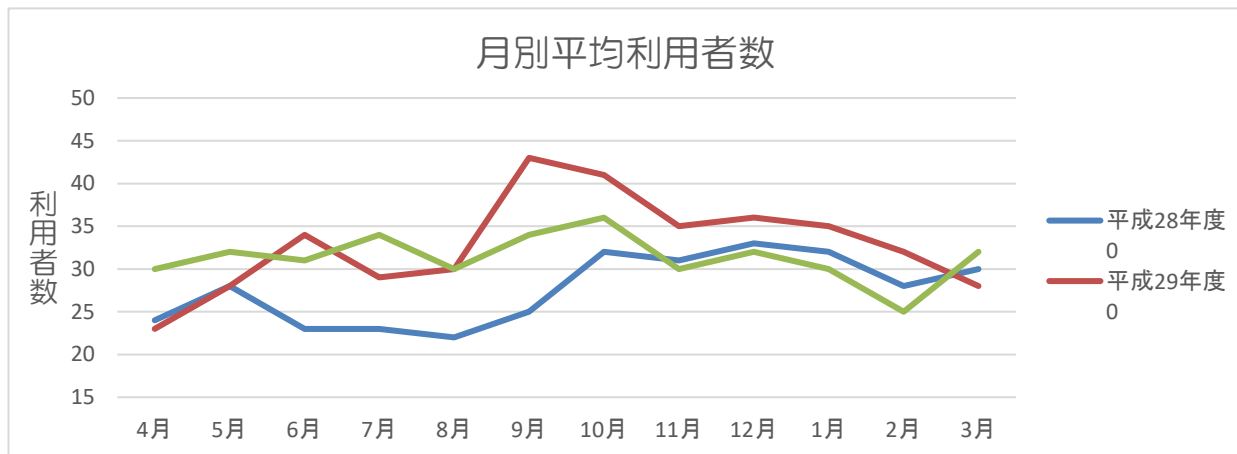
職 名	人 数
管理者	1 (特養兼務)
生活相談員	1 (特養兼務)
介護士	6
介護福祉士	(3.75)
介護支援専門員	1 (特養兼務)
調理員	特養兼務



※人数は常勤換算により計算
() は再掲

○ ショートステイサービス利用状況

	入所実人数 (上段) / 延べ日数 (下段)							
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合 計
平成30年	2	1	9	10	6	2	0	30
4月	11	6	53	60	54	20	0	204
5月	2	0	9	10	8	3	0	32
	15	0	60	67	88	21	0	251
6月	1	0	8	12	8	2	0	31
	11	0	52	120	63	8	0	254
7月	2	0	11	13	6	2	0	34
	8	0	77	123	58	8	0	274
8月	2	0	7	13	7	1	0	30
	9	0	56	106	59	9	0	239
9月	2	0	8	15	7	2	0	34
	9	0	58	134	94	12	0	307
10月	2	1	10	14	7	2	0	36
	11	2	66	123	61	9	0	272
11月	2	1	7	10	8	2	0	30
	14	3	46	102	76	11	0	252
12月	1	1	8	14	6	2	0	32
	6	3	40	98	54	24	0	225
平成30年	0	0	7	10	10	3	0	30
1月	0	0	43	88	80	23	0	234
2月	0	0	4	9	8	4	0	25
	0	0	33	87	106	36	0	262
3月	0	0	7	9	11	4	1	32
	0	0	58	65	134	48	2	307
合 計	16	4	95	139	92	29	1	376
	94	14	642	1173	927	229	2	3081



○ ユニットケアのショートステイ

ショートステイユニットでは、家庭での生活が継続できるように、お一人おひとりの状態の把握に努めて個別のケアを行いました。本人はもちろん、家族の思いにも応えられるように、ユニットスタッフが連携してきめ細やかなケアを提供しました。すべてのご利用者が、心地よい空間で安心して過ごされるように、お部屋の清掃は徹底して行いました。また温かい声掛けと関わりを心がけました。生きがいややりがいを感じ、来園時より心も体も元気になって帰っていただけるようなサポートに努めました。

* ショートステイ利用の充足

- ・ 新規利用者数 28 件
- ・ サービス担当者会議出席 41 件
- ・ 初回面接等訪問相談件数 45 件
- ・ 新規利用前ミニカンファレンス 20 件
- ・ ユニット型ショートステイの利用拡大に向け、市民及び居宅介護支援事業所等へ利用の案内等を作成して訪問するなど、周知に努めました。
- ・ 緊急時のショートステイ利用の相談体制を整えました。
- ・ サービス担当者会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催数	9	6	3	2	3	1	2	3	2	3	1	6	41

* ショートステイ利用中の介護

家庭での生活が継続できるように、利用前からの状態の把握と利用中の状態を観察して、適切なケアの実施に努めました。ご家族との連携を大切に、退所時に日々の暮らしの記録をお渡しする事と細かい伝達や相談、ケアの提案を行い、家族と共にご利用者を支えられるように努めました。家庭を離れて生活をされる中で、暮らしに楽しみを持ち、やりがいを感じていただけるように、アクティビティを充実させました。安全の確保の為に、危険を予測してケアを工夫しました。事故が起こった場合は、原因を追究して適切なケアを検討し、事故の再発防止に努めました。

* ショートステイ利用中の看護

ショートステイ利用中も在宅での療養等が途切れないよう、ご家族、主治医、ケアマネジャー等と連携してご利用者の健康の保持に努めました。また、予防接種の推奨、水分補給の重要性等をご家族と共有し、在宅・ショートステイの切れ間ない支援に努めました。



科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	39	13	18	25	25	9	10	23	43	42	7	21	275
内科	30	48	35	58	40	30	37	24	16	31	14	29	392
眼科	30	30	24	46	41	26	28	46	43	62	54	43	473
皮膚科	13	13	0	0	32	40	48	30	51	50	77	72	426
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	10	0	14
定期与薬	233	278	281	301	258	319	310	267	248	262	276	326	3,359
その他薬	8	12	5	9	7	5	5	5	7	7	10	6	86
合計	353	394	363	439	403	429	438	395	408	458	448	497	5,025

《通常規模型通所介護・介護予防通所介護》

【運営方針】

在宅生活が安全に安心して継続していただけるようバーセルインデックスを実施し利用者の現状把握を行いました。また、利用者とのコミュニケーションを大切にしコミュニケーションの中から生活の課題や要望を把握し、必要な情報の提供や対応を行いました。日々のアクティビティでは、筋力アップを目的に椅子に座っての足踏み体操や体幹体操などを行い機能維持に努めました。当施設のショートステイをご利用されているデイ利用者についての情報を共有しより安全快適にすごしていただく環境整備に努めました。

○ 職員配置（平成31年3月31日現在） (人)

管理者 兼相談員	相談員	看護師兼機能 訓練指導員	介護士	運転手	合計
1	【1】	1	2	2 (2)	6

※ 内()はパート職員 【】は管理者と兼務

○ 定員及びサービス提供日時

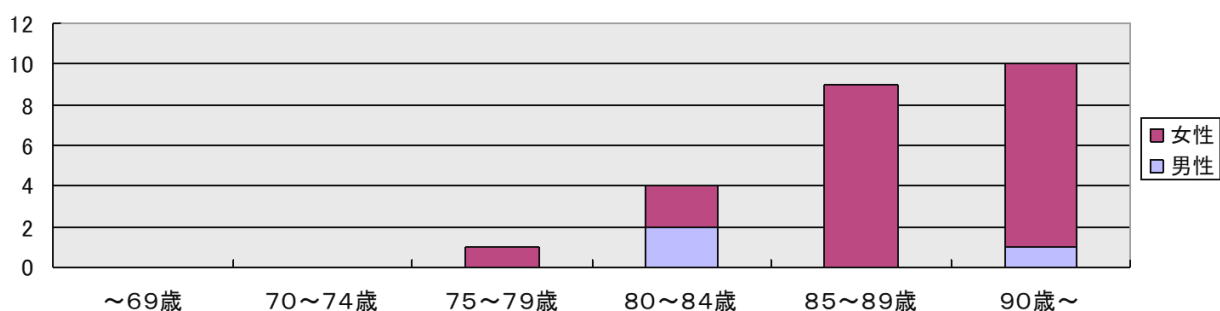
- ①定 員 : 20名/日（通所介護予防＋通常規模型通所介護）
- ②営業日 : 月曜日～金曜日(12/30～1/3は除く) 256日/年
- ③サービス提供時間：9：30～15：30

○ 提供サービス内容

- ①送迎 ②健康チェック ③入浴 ④食事 ⑤個々に必要な身体介護
- ⑥機能訓練 ⑦アクティビティ ⑧生活相談

○ 利用者状況（平成31年3月31日現在）

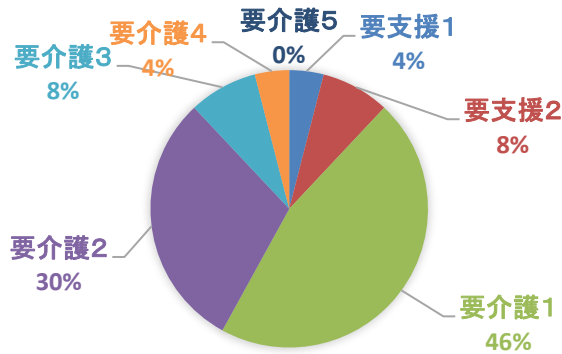
①年齢と性別 (人)



性別\年齢	～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合 計
男 性	0	0	1	2	0	1	4
女 性	0	0	0	2	9	9	20
合 計	0	0	1	4	9	10	24
%	0	0	4.17	16.63	37.5	41.7	100

平均年齢 88.87 歳

②介護度区分

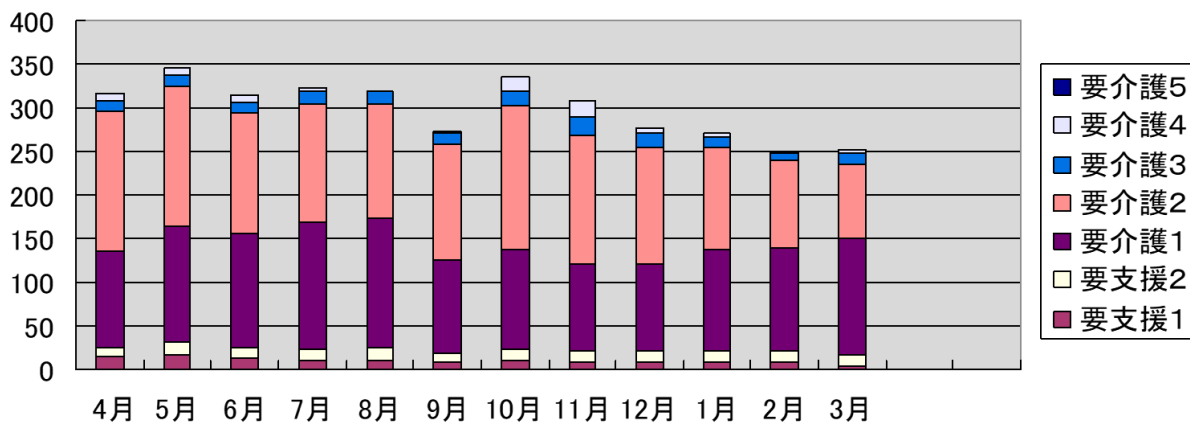


介護度区分

介護度	人数	%
要支援1	1	4
要支援2	2	8
要介護1	11	46
要介護2	7	30
要介護3	2	8
要介護4	1	4
要介護5	0	0
合計	24	100
平均介護度	1.557	

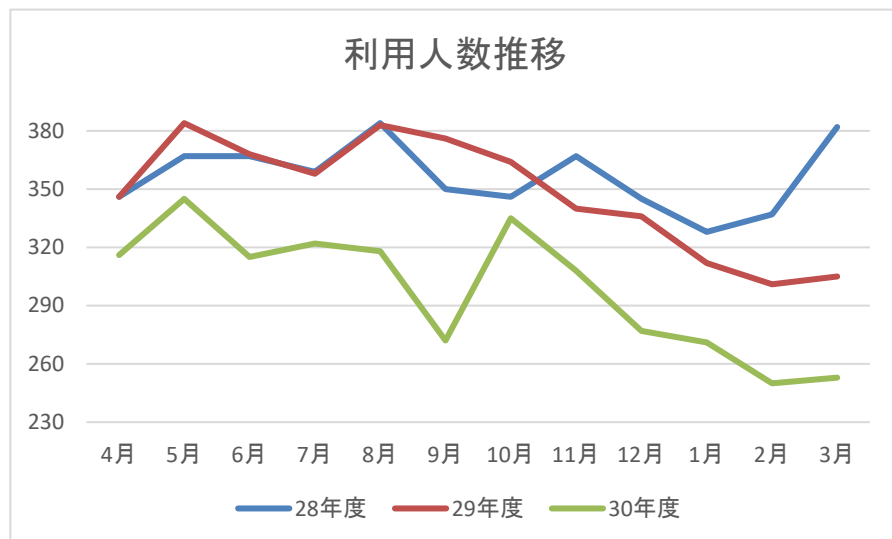
6. 月別利用状況（延べ利用者数）

（人）



区分 月	要支援		要介護					利用者数 合計	1日平均 利用者数	前年度 利用者数	1日平均 利用者数	増 減
	1	2	1	2	3	4	5					
4月	15	10	110	161	12	8	0	316	15	346	16.5	▲ 30
5月	17	15	132	160	13	8	0	345	15	384	16.7	▲ 39
6月	13	12	131	138	13	8	0	315	15	368	16.7	▲ 53
7月	10	13	145	137	14	3	0	322	14.6	358	17.1	▲ 36
8月	11	13	148	132	14	0	0	318	13.8	383	16.7	▲ 65
9月	8	10	108	132	12	2	0	272	13.6	376	15.9	▲ 104
10月	11	11	116	164	16	17	0	335	14.6	364	17.3	▲ 29
11月	9	12	99	148	22	18	0	308	14	340	16.7	▲ 32
12月	8	12	100	135	15	7	0	277	13.9	336	16.4	▲ 59
1月	8	12	117	117	13	4	0	271	13.6	312	16.4	▲ 41
2月	8	12	120	100	7	3	0	250	12.5	301	16.7	▲ 51
3月	4	12	133	87	12	5	0	253	12.1	305	16.6	▲ 52
合計	122	144	1459	1611	163	83	0	3582	14.0	4173	15.1	▲ 591

○ 利用者数推移



	利用者数	前年増減(数)
4月	316	▲ 30
5月	345	▲ 39
6月	315	▲ 53
7月	322	▲ 36
8月	318	▲ 65
9月	272	▲ 104
10月	335	▲ 29
11月	308	▲ 32
12月	277	▲ 59
1月	271	▲ 41
2月	250	▲ 51
3月	253	▲ 52
平均	3582	▲ 591

《居宅介護支援事業》

【事業目的】

高寿園居宅介護支援センターは、利用者がその有する能力に応じ、自立した在宅生活が送れるように保健医療サービス及び福祉サービス、施設等の多様なサービスを総合的かつ効果的に提供するように関係機関と連絡調整を行い、適切な居宅介護支援を提供することを目的として事業を行いました。

○ 職員配置

管理者（兼務）	介護支援専門員	合計
1名	1名	2名

○ 業務内容

- ① 要介護認定の申請手続き
- ② 要介護認定のための訪問調査(市委託業務)
- ③ 居宅介護サービス計画(ケアプラン)の作成
- ④ サービス担当者会議の開催
- ⑤ 介護保険給付管理事務
- ⑥ 在宅介護に関する相談業務
- ⑦ 地域包括支援センターとの連携

○ 活動状況

項目	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査		2	2	2	2	2	4	0	4	0	2	0	0	20
相談	訪問	61	61	54	69	69	78	86	62	73	73	63	56	805
	来所	0	0	0	1	0	1	0	3	2	0	1	4	12
	電話	7	11	5	11	20	17	18	16	19	10	11	13	158
手続代行		2	2	3	3	4	2	5	5	2	3	4	2	37

○ ケアプラン作成件数

(人)

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要介護1		15	17	16	17	18	14	13	11	10	10	10	10	161
要介護2		12	11	11	10	10	13	14	14	14	13	14	11	147
要介護3		4	4	4	5	4	4	4	5	5	7	8	8	62
要介護4		2	2	2	3	3	2	3	2	4	3	2	1	29
要介護5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		33	34	33	35	35	33	34	32	33	33	34	30	399

〈別紙1〉 平成30年度 行事・ボランティア等一覧

行事名	開催日		参加者					ボランティア			費用
			入居者	ショート	デイ	職員	一般	人数	氏名・団体名	内容	
お花見会	30.4.6	金	75	9	15	33					7,841
端午の節句	30.5.1	火	67	7	14	26		9	ふーちゃんとびーちゃん 歌と踊りのひととき	歌と踊り	1,188
デザートパーティ	30.6.8	金	70	14	15	16		1	個人	ギター・歌	18,644
そうめん流し	30.7.2	月 木	73	7	16	35					2,394
	～7.5										
七夕祭り	30.7.6	金	74	8	15	28					15,748
絵手紙教室	30.7.27	火	15	5	3	11					4,200
盆供養	30.8.13	月	32								3,480
夏祭り	30.8.17	金	72	11	12	36	10	5	中道中学校生	行事手伝い	47,273
生花教室	30.9.14	金	14	5	6	8		2	生花講師	生花指導	33,556
敬老お祝い会	30.9.17	月	68	6	14	32	12	9	リトルウインド	吹奏楽演奏	54,395
								5	ヘアクリエイト	メイク・ネイル等	
彼岸供養	30.9.26	水	18			5		1	多聞寺住職	読経	11,679
高倉神社 秋祭り	30.10.20	土	63	8		28		50	高倉神社氏子	祝詞・神輿・獅子練	40,755
交流広場	30.11.3	土	82	6	0	49	155	11	美作大学	アトラクション	167,202
								1	個人	アメ細工	
忘年会	30.12.10	月	71	7	11	54					17,634
	30.12.11	火									
	30.12.13	木									
クリスマス会	30.12.21	金	9	7	16	18	49				29,561
餅つき大会	30.12.27	木	36	7	13	21					
新年会	31.1.1	火	64	8		17	17				24,545
新年福引大会	31.1.1	火	31	6		12					
新春カラオケ大会	31.1.11	金	38	5	15	23					2,509
節分祭	31.2.1	金	53	5	14	25					1,188
行燈づくり	31.2.5	火	8			9					24,314
高寿園 ひな祭り (展示)	31.3.1	金	76	21	5	3	45	5	個人	飾り付け 片づけ	18,455
	～4.3										
彼岸供養	31.3.20	水	32			12		1	多聞寺住職	読経	14,110
おはぎ作り	31.3.28	木	35		2	19					1,130
高寿園 ひな祭り (ひなカフェ)	31.3.3	日 木	57	14		7	28	6	どんぐり工房	ひなカフェ	6,950
	～3.7							6	茶道教室	ひなカフェ	
参加者・ボランティア合計			1233	166	186	527	316	112	費用合計		548,751

○ ボランティア行事

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
昔話・歌・体操等	30.4.19	木	25	4	13	11		3	語りの会いろりばた
	30.5.17	木	38	8	17	17		3	
	30.6.21	木	47	9	11	9		3	
	30.7.19	木	38	7	13	10		3	
	30.8.16	木	26	9	9	11		3	
	30.9.20	木	27	8	12	7	3	3	
	30.10.18	木	34	6	13	10		3	
	30.11.15	木	41	6	13	10	2	4	
	30.12.20	木	34	4	11	11		4	
	31.1.17	木	32	7	13	9		4	
	31.2.21	木	33	6	12	15		3	
アロマセラピー	31.3.21	木	33	11	12	13	3	4	カモン会
	30.4.17	火	9					3	
	30.5.15	火	7					3	
	30.6.19	火	8					3	
	30.7.17	火	8					3	
	30.8.21	火	6			1		2	
	30.11.20	火	6					3	
	30.12.18	火	6					2	
	31.1.15	火	6					3	
	31.2.19	火	8					3	
ギター演奏	31.3.19	火	5					2	個人（地域住民）
	30.5.24	木	12			3		1	
歌・演奏等	30.10.10	水		5		3		1	金巻バンド
	30.4.10	火		16	3	5		3	
	30.4.25	水		13	3			3	
	30.4.27	金		17	3			3	
	30.7.27	金		14	3			3	
	30.8.14	火		13	3			3	
	30.8.24	金		14	3			3	
	30.9.11	火		15	3			3	
	30.9.28	金		14	3			3	
	30.10.9	火		16	3			3	
	30.11.23	金		15	4			3	
	30.1.25	金		13	3			3	
	30.2.22	金		13	4		2	3	
	30.3.22	金		14	4		3	3	
	30.4.25	水	32	3	13	18		7	
	30.5.11	金	48	6	17	20		1	
お花のプレゼント	30.6.12	火	5	5		6		8	高倉ひかり保育園
談話	30.7.28	土	6			4		7	フォレック
ひまわりのプレゼント	30.8.4	土	2	3		4		15	杉の森子供会

内容	開催日		参加者					ボランティア	
			入居者	ショート	デイ	職員	その他	人数	氏名・団体名
エイサー・三味線	30.8.26	日	35	4		9		10	結
書道	30.9.9	日	7			5		1	個人（地域住民）
	30.7.7	日	16	4		6		1	
	30.11.11	日	19	3		8		1	
	30.12.2	日	14	3		9		1	
	31.2.3	日	12			8		1	
	31.3.17	日	20	6		12		1	
楽器演奏	30.4.27	金	17			3		3	ユニット にじ
	30.5.25	金			14			3	ユニット にじ
	30.8.20	月	23	7	12	9	5	6	個人（地域住民）
歌・踊り等	31.3.19	火	40	9	11	12	1	19	加茂文化協会
日本舞踊	30.11.27	火	40	9	14	12		7	孝弥会
参加者・ボランティア合計			825	339	272	290	19	200	

○ 行事以外のボランティア

内 容	月 日	人数	団 体 名
縫物	30.4.25	水 1	個人
	30.6.27	水 1	個人
清掃	30.6.30	土 17	パナソニックCNS労組作州支部
写真貸し出し	30.10.30 ～11.5	火月 1	個人

ボランティア 延べ
332 名

○行事食

行 事 名	月 日	行事献立
お花見会	30.4.6	お花見弁当 筍ご飯、梅しそご飯、鯖の照り焼き、ミートローフ、がんもの煮物、菜の花の辛子和え、春キャベツの酢の物、干草卵焼き、イチゴのミックスジュースゼリー
端午の節句	30.5.1	くずもち
デザートパーティ	30.6.8	ケーキ、ゼリー
そうめん流し	30.7.2-5	そうめん
七夕まつり	30.7.6	水ようかん
夏祭り	30.8.17	お祭り屋台：ベビーカステラ、かき氷、ミニお好み焼き、綿菓子、ジュース
敬老お祝い会	30.9.17	昼食：赤飯、ブリの照り焼き、茶わん蒸し、ほうれん草の梅和え カフェ：ケーキ、ゼリー、ようかん、コーヒー、ジュース
秋祭り	30.10.20	松茸風炊き込みご飯、天ぷら、煮浸し、すまし汁、ぶどうゼリー
交流広場	30.11.3	模擬店：焼きそば、たこ焼き、うどん、カレーライス、綿菓子 フライドポテト、ミニたい焼き、飴細工、コーヒー、ジュース
忘年会	30.12.10・13	寄せ鍋（普通食）
	30.12.11	寄せ鍋（ソフト食）
クリスマス会	30.12.21	ケーキ、ジュース
新年会	31.1.1	おせちバイキング： 雑煮、ブリの幽庵焼き、卵豆腐、テリーヌ、紅白なます、黒豆、ミートローフ、栗きんとん、煮しめ、お浸し、マッシュマロムース
とんど	31.1.15	ぜんざい
節分祭	31.2.1	ベビーボーロ、黒豆茶
ひなカフェ	31.3.3-7	桜ようかんと甘酒・梅昆布茶／芋菓子と黒豆茶(どんぐり工房)

○希望の食事

	実施した希望の食事
4月	プリン 鶏肉のから揚げ オレンジゼリー
5月	りんごのコンポート 鶏肉のから揚げ プリン
6月	キウイゼリー ちらし寿司 プリン 芋ようかん 牛肉と野菜のタレ炒め
7月	カレー 赤飯 牛肉の甘辛炒め 鯛の塩焼き ちらし寿司 りんごのコンポート
8月	照り焼きチキン みかんゼリー ちらし寿司 桃ゼリー コーヒーゼリー
9月	水ようかん キウイヨーグルト
10月	プリン ぶどうゼリー 水ようかん 柳川風煮 りんごのコンポート
11月	桃ゼリー プリン 水ようかん 親子丼 鯖の煮付け
12月	カレー バナナのヨーグルトかけ 炊き込みご飯 ちらし寿司
1月	マッシュマロムース 桜ようかん 酢味噌和え ようかん みかん プリン バナナ
2月	赤飯 プリン 鶏肉のから揚げ 桃ゼリー ようかん エビ炒飯 ちらし寿司 炊き込みご飯
3月	りんごのコンポート 炒り鶏 赤飯 ミートスパゲティ プリン タラの南部焼き ようかん 桃ゼリー フルーツヨーグルト

〈別紙2〉 平成30年度 役員会等の開催状況

・ 評議員会の状況

開催年月日	評議員	監事	決議事項
30.6.20	6名	2名	平成29年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 専決事項の報告
30.12.11	7名	2名	平成30年度第1次資金収支補正予算 就業規則の一部改定
31.3.26	6名	2名	平成30年度第2次資金収支補正予算、経理規則の一部改定 通所介護事業運営規程の一部改定 2019年度事業計画・資金収支予算、役員改選について

・ 理事会の状況

開催年月日	理事	監事	決議事項
30.5.31	6名	2名	平成29年度事業報告・歳入歳出決算・監査報告 専決事項の報告
30.11.26	6名	2名	平成30年度第1次資金収支補正予算 就業規則の一部改定
31.3.12	6名	2名	平成30年度第2次資金収支補正予算、経理規則の一部改定 通所介護事業運営規程の一部改定 2019年度事業計画・資金収支予算、役員改選について

・ 監事会の状況

開催日：平成30年5月25日 出席監事：2名
平成29年度業務執行の状況及び財産の状況の監査

・ 税理士監査の状況

開催日：平成30年5月16日 税理士：1名
平成29年度事業運営の状況、規程等の順守、経理執行・財産の状況の監査

・ 社会福祉施設指導監査の状況

開催日 平成31年1月8日 岡山県美作県民局 指導班
結 果 文書指導 指摘事項なし □頭指導 1件

・ 居宅介護支援センター実地指導の状況

開催日 平成30年10月15日 津山市高齢介護課
結 果 文書指導 3件

〈別紙3〉 平成30年度 研修等一覧表

※ 発表/講師/スタッフ等派遣

	参加者	日程	人数	場所	主催
【講師派遣】					
介護福祉士実習指導講習会：講師	介護士長	30.8.30	1	岡山県立大学	県介護福祉士会
介護福祉士実習指導講習会：講師	施設長	30.8.30	1	岡山県立大学	県介護福祉士会
社会福祉士基礎研修Ⅱ：講師	施設長	30.9.2	1	くらしき健康プラザ	県社会福祉士会
介護・福祉施設でいきいきと輝く看護職：シンポジスト	看護師長	30.9.28	1	津山中央病院	県看護協会
実習指導者講習会：講師	施設長	30.10.6	1	きらめきプラザ	県社会福祉士会
在宅・高齢者ケア施設看護職の交流会：シンポジスト	看護師長	30.12.7	1	岡山県看護会館	県看護協会
認知症サポーター養成講座	看護師・相談員	31.2.7	2	西田辺公会堂	市地域包括支援センター
【事例発表】					
津山施設ケア研究発表会	ユニットリーダー	30.7.14	1	津山市総合福祉会館	津山施設ケア研究会
中国地区老人福祉施設研修大会	ユニットリーダー	30.8.30-31	1	広島市	中国地区老施協
多職種連携研修会	看護師長	30.11.26	1	リージョンセンター	市在宅医療・介護連携推進協議会
社会福祉法人役員セミナー	施設長	31.2.4	1	メルパルク岡山	県経営協
県老施協職員研究発表会	看護師・相談員	31.2.19	2	コンベンションセンター	県老施協
【イベント等応援】					
福祉の就職総合フェア岡山夏：総合相談	施設長	30.8.11	1	岡山ロイヤルホテル	県社協
福祉紹介キャンペーン：スタッフ	地域相談員	30.8.22	1	瀬戸内市邑久町公民館	県経営協
県老施協介護フェア	地域相談員	30.10.13	1	イオン岡山	県老施協
【研修会等スタッフ】					
多職種連携研修会：ファシリテーター	施設長	30.11.26	1	リージョンセンター	市在宅医療・介護連携推進協議会
栄養士研修会	施設長	31.1.16	1	きらめきプラザ	県老施協
県老人福祉施設職員研究発表会	施設長	31.2.19	1	コンベンションセンター	県老施協
【その他】					
カイゴ男子・女子	介護士	30.10.13	2	イオン岡山	県老施協
カイゴ女子フォトブック取材	介護士	31.2.7	1	高寿園	県老施協
月間老施協取材		31.2.12		高寿園	全国老施協

※ 外部研修

研 修 会 名	参加者名	日 程	人数	場 所	主 催
介護報酬改正に関する解釈通知説明会	ケアマネ他	30.5.22	7	神戸市産業振興センター	㈱日本ケアコミュニケーションズ
津山市介護保険事業者連絡協議会情報連絡会	事務次長	30.5.28	1	津山市役所	津山市介護保険事業者連絡協議会
経営戦略セミナー	施設長	30.5.29-30	1	TOC有明コンベンションホール	全国老施協
介護支援専門員専門研修	居宅ケアマネ	30.6.9-7.12 (8日)	1	コンバックス岡山他	岡山県
県老施協21世紀委員会セミナー	相談員	30.6.25	2	きらめきプラザ	県老施協
管理栄養士・栄養士研修会	管理栄養士	30.6.25	1	TFTビル	全国老施協
岡山県福祉・介護職員合同入職式	新卒採用者	30.7.4	5	鶴山ホテル	岡山県
生活支援サポーターフォローアップ研修	地域相談員	30.7.11	1	津山市総合福祉会館	津山市社協
津山施設ケア研究会	ユニットリーダー他	30.7.14	10	津山東公民館	津山施設ケア研究会
安全運転管理者講習	事務次長	30.7.23	1	勝央文化ホール	県公安委員会

研 修 会 名	参加者名	日 程	人数	場 所	主 催
災害時のB P C策定研修(入所施設)	事務員	30.7.24	2	きらめきプラザ	県社協
災害時のB P C策定研修(通所施設)	地域相談員	30.7.25	1	きらめきプラザ	県社協
認知症介護基礎研修	介護士	30.7.31	3	きらめきプラザ	岡山県社協
特定給食施設関係者研修会	管理栄養士	30.8.3	1	岡山市民会館	岡山県
給食従事者研修会	調理員	30.8.8	1	リージョンセンター	美作保健所
災害派遣福祉チーム(DWAT)員養成研修	相談員	30.8.21	2	ロイヤルホテル岡山	岡山県社協
給食施設管理者研修会	栄養士	30.8.30	1	リージョンセンター	美作保健所
中国地区老人福祉施設研修大会	介護士	30.8.30-31	2	広島国際会議場	中国地区老施協
美作地区老施協職員研修会	ケアマネ	30.9.1	2	高寿園	美作地区老施協
認知症介護実践者研修	介護士	30.9.12-12.17 (6日)	2	きらめきプラザ	岡山県社協
全国社会福祉法人経営者大会	施設長	30.9.20-21	1	長野県	全国経営協
全国老施協トップセミナー	施設長	30.10.4	1	ホテルニューオータニ	全国老施協
つしん未来塾	ディ管理者	30.10.4-2.21 (6日)	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
岡山県社会福祉大会	事務員	30.10.11	1	岡山市民会館	県社協
認知症介護実践者研修	介護士	30.10.16-12.17 (4日)	2	きらめきプラザ	岡山県社協
リフレサポート講座	介護士	30.10.17・11.22	2	テクノサポート岡山	リブドゥコーポレーション
中四国地区社会福祉法人経営者セミナー	施設長	30.10.18-19	1	ホテルかめ福	中四国地区経営協
経営青年管理セミナー	ディ管理者	30.11.5	1	岡山県医師会館	県経営協
居宅CM・地域包括C情報交換会	居宅ケアマネ	30.11.12	1	市総合福祉会館	市地域包括支援センター
DWAT等活動報告会	事務局長・事務員	30.11.13	2	きらめきプラザ	岡山県社協
全国老人福祉施設大会	施設長	30.11.20-21	1	西日本総合展示場	全国老施協
介護保険施設看護管理者育成研修	看護師長	30.11.25	1	岡山県看護会館	岡山県看護協会
多職種連携研修	施設長他	30.11.26	4	リージョンセンター	市在宅医療・介護連携推進協議会
津山中央病院医介連携ミーティング	看護師長・相談員	30.11.28	2	津山中央病院	津山中央病院
中国Bカントリーミーティング	相談員他	30.11.29-30	3	米子コンベンションセンター	中国地区老施協
感染症対策研修会	看護師	30.12.3	1	リージョンセンター	美作保健所
認知症介護基礎研修	介護士	30.12.4	3	きらめきプラザ	岡山県社協
災害派遣福祉チーム(DWAT)員養成講座	介護士他	30.12.4	5	リーセントカルチャーホテル	岡山県社協
虐待防止研修	介護士他	30.12.6	5	市総合福祉会館	地域包括支援センター
認定調査員現認研修	居宅ケアマネ	30.12.7	1	リージョンセンター	岡山県
岡山県経営協セミナー(後期)	事務局長・事務次長	30.12.19	2	岡山ロイヤルホテル	県経営協
岡山県福祉・介護職員合同入職式フォローアップ	新卒採用者	30.12.20	5	鶴山ホテル	岡山県
介護保険施設看護管理者研修(実習)	看護師長	30.12.21	1	特養・しおかぜ	岡山県看護協会
管理栄養士・栄養士研修会	管理栄養士	31.1.16	1	ピュアリティまきび	県老施協
全国老施協トップセミナー	施設長	31.1.28-29	1	憲政記念館	全国老施協
美作地区老施協施設長研修会	施設長	31.2.1	1	ゆのこう館	美作地区老施協
キャラバンメイトフォローアップ研修	地域相談員	31.2.2	1	市総合福祉会館	津山市包括センター
高知家ノーリフティングフォーラム	施設長・事務局長	31.2.3	2	サンピアセリーズ高知	日本ノーリフト協会高知支部

研 修 会 名	参加者名	日 程	人数	場 所	主 催
美作地区老施協21世紀委員研修	総務部	31.2.6	8	市総合福祉会館	美作地区老施協
元気いきいき通所S事業者説明会	施設長・事務次長	31.2.18	2	津山市役所	津山市
県老人福祉施設職員研究発表会	相談員	31.2.19	1	コンベンションセンター	県老施協
元気いきいき通所S指定プログラム講習会	介護士他	31.2.19	4	津山市役所	津山市
相談援助実習担当者との情報交換会	事務局長	31.2.21	1	美作大学	美作大学
集団指導：特養 SS	相談員・事務員	31.2.21	2	岡山商工会議所	岡山県
集団指導：デイ	デイ管理者	31.2.22	1	岡山市立市民文化ホール	岡山県
相談援助研修	居宅ケアマネ	31.2.26	1	市総合福祉会館	津山市包括センター
在宅医療・介護を考える市民フォーラム	看護師長	31.3.2	1	リージョンセンター	市在宅医療・介護推進協議会
居宅CM・地域包括C情報交換会	居宅ケアマネ	31.3.7	1	市総合福祉会館	市地域包括支援センター
介護認定調査員研修会	居宅ケアマネ	31.3.7	1	津山市役所	津山市
ケアマネジメント質の向上研修会	居宅ケアマネ	31.3.12	1	市総合福祉会館	市地域包括支援センター
総合事業説明会	事務次長	31.3.19	1	津山市役所	津山市
つしん未来塾合同交流会	デイ管理者	31.3.20	1	津山信用金庫本店	津山信用金庫
地域密着型サービス集団指導	事務局長・事務次長	31.3.20	2	津山市役所	津山市
居宅介護支援事業所集団指導	居宅ケアマネ	31.3.22	1	津山市役所	津山市
総合事業集団指導	事務員	31.3.25	2	津山市役所	津山市

※ 求人活動

催 事 等 名	職 名	日 程	人数	場 所	主 催
合同就職面接会in美作大学	事務局長・事務次長	30.5.20	2	美作大学	津山広域事務組合
H30年度新規卒者求人手続説明会	事務次長	30.5.30	1	リージョンセンター	津山公共職業安定所
県北学生等就活応援フェア2019	事務局長・事務次長	30.7.5	2	津山市総合体育館	津山公共職業安定所
H30年度高校生のためのジョブフェア	局長・次長・介護士	30.7.20	3	津山市総合体育館	津山公共職業安定所
就職説明会in北部校	事務局長・事務次長	30.8.7	2	県立北部高等技術専門校	岡山労働局
福祉の就職総合フェア岡山夏	局長・次長・相談員	30.8.11	3	岡山ロイヤルホテル	岡山県社協
H30年度55歳からの合同就職説明会	事務局長・事務次長	30.9.20	2	津山圏域雇用労働センター	津山市生涯現役促進協議会
高齢者の活用相談	事務局長	30.11.6	1	高寿園	津山公共職業安定所
就職説明会in北部校	局長・次長・介護士	31.2.12	3	県立北部高等技術専門校	岡山労働局
県北地域企業説明会	事務局長・事務次長	31.3.6	2	津山市総合体育館	津山広域事務組合

※ 実習等受け入れ

実 習 名 等	学 校 名 等	人数	期間(日)
介護等体験実習	美作大学他3大学	11	5
介護実習	美作高校福祉コース 2年	2	16
	美作高校福祉コース 3年	4	35
社会福祉士相談援助実習	美作大学	2	25
インターンシップ	市内高校生	3	3
産業現場実習	誕生寺支援学校	1	10
夏のボランティア体験	市内中学生	6	3

〈別紙4〉 平成30年度 ユニット報告書

《ユニット3》

「入居者が安心した生活を送れるように、心が豊かになるような関わりを持ちます。」を重点目標として取り組みました。

- ・ 月1回のユニットミーティングはあまり開催できませんでした。
ユニットスタッフ間での情報の共有の不足から、統一したケアが十分にできませんでした。情報の共有から統一したケアが行えるように、月1回はユニットミーティングを開催するよう努めたいです。
- ・ 心が豊かになる関わりを持つというところでは、笑顔で丁寧な声掛けや、入居者の思いを
と聞くよう努めました。
- ・ ユニット内の行事として、ユニット4と合同で誕生会を開催しました。入居者同士や職員
との交流がもて、気分転換に繋がりました。
- ・ 日曜日以外は毎日ユニット体操を行いました。
- ・ 来年度は、今年度の反省を活かして、スタッフ一同協力してユニットの良い所を伸ばして
いき、より良いユニットケアの実現を目指していきたいと思います。
- ・ ユニット費：
誕生会用のケーキ 2,000円
日用雑貨・飲み物・おやつ 6,000～8,000円
- ・ ユニットミーティング： 1回／3か月 4～6名参加

《ユニット4》

「入居者一人ひとりの自由な意思を尊重し、常に入居者の立場に立ったケアを行います。」を重点目標としました。

- ・ 入居者の一人一人と向き合い、関わる中で、今何をするのがケアとして一番良いことな
のかを話しあいながら日々のケアを行いました。
- ・ 日々の業務の流れの中で、時に安全やプライバシーなど重要な部分の徹底が見落とされる
ことがあり、その都度カンファレンスを行い、2ユニット共有の伝達ノート、センサー
チェック表などの確認用紙をしっかりと活用してケアや業務の見直しを行っています。
- ・ 体調の変化や状況の変化に対応しながら、楽しみや、趣味などの継続、日々の生活の中の
洗濯をたたむ・干す等の軽作業の役割や生活環境を整えることで、家庭的な場面にふれな
がら過ごせるような関わりを心がけました。リビングを季節感のある装飾にしています。
- ・ 今後も入居者一人ひとりの思いに寄り添えるケアができるように、入居者、家族と密にコ
ミュニケーションをとり、小さな気づきを基にした職員間の連携をしっかりと行うなどケ
アの向上に努めたいと思います。
- ・ ユニット行事
誕生会 1回／3～4か月 送別会 1回 ひな祭り会など
- ・ ユニット費
誕生会用ケーキ（送別会等行事用食品） 約2,000円／該当月
行事用、アクティビティ用材料（工作材料など） 約2,000円／月
掃除、衣類補修、洗濯生活用品 約1,000～2,000円／月
飲み物、し好品等 約3,000円／月
- ・ ユニットミーティング会議 1回／3か月

《ユニット5》

『一人ひとりの個性が尊重され、日々の生活を穏やかに、楽しく暮らせるユニットケアを行う』を重点目標として、一年間ユニットスタッフ一丸となり取り組みました。

- ・ 入居者一人ひとりにあったケアを提供する為に、しっかりと関わりながら観察を行ない、24Hシートに反映できるように心がけました。24時間の生活を安心して過ごしていただけるようにスタッフ間で情報が共有できるようにU5・6共通の申し送り簿を活用しました。
- ・ 今後も、声にならなくても表情や体調の変化を見逃さないように、入居者の立場で考えて、心に寄り添う丁寧なケアを心掛けていきたいと思えます。
- ・ 日中のアクティビティは、塗り絵、折り紙、風船バレー、数字並べゲーム、計算ドリル、雑誌等を豊富に用意して、個々にあったアクティビティを楽しめるよう勧めました。
- ・ ユニットの行事では、送別会や、ひな祭りカフェ、白寿のお祝いなど、ご家族や入居の皆さんと楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ ユニット費
送別会用のケーキやプリン 2,000円程度
日用雑貨や飲み物 5,000円程度
各行事の作品の材料費 500～1,000円程度
- ・ ユニットミーティング ユニット5・6合同 当日出勤者4～6名が参加

《ユニット6》

「一人ひとりが穏やかに笑顔で生活できるように個々にあったケアをします。」を目標として一年間取り組みました。

- ・ 月1回のユニットミーティングは中々実施できませんでしたが、状態の変化や、ケアの中で不安に思うことなどはその都度ユニット職員で話し合いを行い、入居者が安心していただけるケアに努めました。
- ・ ユニットから出かける楽しみを感じていただけるよう、体調などに配慮しながら行事に参加していただきました。入居者同士の交流もあり、楽しみを持って過ごして頂く事ができました。
- ・ 朝食前のフルーツが心身の活性化に効果的と聞き、起床時にミックスジュースを飲んでいただきました。しっかりと覚醒してから朝食を召し上がって頂いています。「これを飲むのが楽しみ。」と喜ばれています。
- ・ ユニット費
送別会用のプリン、飲み物 1,000～4,000円
日用雑貨 4,000～5,000円
- ・ ユニットミーティング ユニット5・6合同 当日出勤者4～6名が参加

《ユニット7》

『穏やかな暮らしが送れるように、思いやりのあるケアを実践します。』を重点目標として、ユニット介護士一同で取り組みました。

- ・ 日頃から入居者の立場に立ってケアを行い、入居者の気持ちが沈んでいる時には、何が一番安心できるかを考えて寄り添うように努めました。
- ・ 新規の入居者には介護士同士で情報交換を行い、なるべく早く馴れていただくように関わりました。

- ・ ケアプランを活用し、身体機能の維持の為に体操などを積極的に行いました。
- ・ ユニット行事： 行事計画に沿って実施。該当者のいる月は、誕生会を実施しました。
- ・ ユニット費：

誕生会の飲食代	1,000円程度/月
各行事の作品の材料代	200～500円/回
ユニット内の備品代	200～500円/月
日用雑貨・飲み物・おやつ代	3,000円～8,000円/月
- ・ ユニット会議： 毎月1回 ユニット7・8合同 当日参加者4～5名

《ユニット8》

『入居者がその人らしい暮らしを継続できるようなユニット作り』を重点目標として取り組みました。

- ・ 個別のケアを大切にして、時間で一斉の起床をやめました。日中は休む時間と活動する時間を設け、生活にメリハリを持たせるよう心がけました。
- ・ ユニットで計画した行事は、季節に応じたアクティビティーを取り入れて、飲食も用意し、喜んで参加していただけるように工夫しました。また、入居者の『つぶやき』を大切にして行事を企画しました。つぶやきから発展させた行事は好評を得ました。
- ・ 退院後の体調がまだ不安定な入居者が、思いやりのケアで1日1日元気になる姿が見られることも、職員のやる気につながりました。
- ・ ユニット行事： 行事計画に沿って実施
- ・ ユニット費：

誕生日会の飲食代：	1,000～3,000円程度/月
飲み物、日用雑貨：	5,000～8,000円程度/月
各行事の作品材料費：	1,500円程度/1回
- ・ ユニット会議： 7・8合同で開催 当日の出勤者4～6名が参加

《ユニット9》

『その人らしい暮らしの継続と安心して生活を送って頂くために』『ケアの質を高めるために』の2点を重点目標としてスタッフ全員で取り組みました。

- ・ 入居者一人ひとりを理解するためにスタッフ間で情報共有を行いました。そのことによって個別ケアの実践・根拠に基づくケアにつなげることができたのではないかと思います。
- ・ ご家族の面会時にはコミュニケーションをとり、良い関係が築けるよう心掛けました。
- ・ スキルアップを図るために研修に参加し、認知症等の知識向上に努めました。
来年度も今年度の反省を活かし報告・連絡・相談を密に行い入居者の暮らしの継続を支援していきます。
- ・ ユニット費は入居者の生活の活性化につながるものとなるよう努めました。
- ・ ユニット行事：

誕生会（該当月）	15名～20名参加
平成30年12月7日	9.10ユニット合同クリスマス会 18名参加
- ・ ユニット費：

クリスマス会プレゼント	200円/1人
誕生会ケーキ	1,500円
各行事の作品の材料費	500円～1,000円
飲み物	3,000～5,000円
日用雑貨	3,000円
- ・ ユニット会議： 1回/3ヶ月 9・10ユニット合同 当日の出勤者5～6名参加

《ユニット10》

『ユニットケアを充実させる』を目標としてユニットスタッフ全員で取り組んできました。

- ・ 入居者の意思や生活リズムを尊重するために関わりを多く持ち、一人ひとりの思いに寄り添い、その人にあったケアが行えるよう支援しました。
- ・ 24時間シートをその都度見直し、その人らしい暮らしに少しでも近づけるよう努めました。
- ・ 入居者同士の交流を大切にして、時には介護士が間に入り、楽しく過ごして頂けるよう支援しました。
- ・ 残存機能の維持を目的に、洗濯たたみや新聞折りなどご自分の役割として頂けるよう努めました。
- ・ 毎月ユニットミーティングを行えていなかったのが反省点です。ユニットケアをさらに充実させるために来年度は毎月行えるようにし、スタッフ同士で意見交換や情報共有を行い、その人らしい生活がおくれるよう支援していきたいです。
- ・ ユニット行事： 誕生会（該当月） 15名～20名参加
平成30年12月7日 9・10ユニット合同クリスマス会 18名参加
- ・ ユニット費：

クリスマス会プレゼント	200円／1人
誕生会ケーキ	1,500円
各行事の作品の材料費	500円～1,000円
飲み物	3,000～5,000円
日用雑貨	3,000円
- ・ ユニット会議： 1回／3ヶ月 9・10ユニット合同 当日の出勤者5～6名参加

○ ケア向上委員会

《口腔ケアチーム》

口腔ケアチームの委員に対し、口腔ケアと健口体操の必要性を周知してもらい、口腔ケア委員会の目的を確認しました。

各ユニットの入居者の口腔内の状態をあらためて把握し、一人ひとりに合った口腔ケアを考えました。また、口腔内の状態の変化を都度個別に記録しました。

口腔ケアの徹底を図るために、歯科医師往診時には歯磨きや口腔ケアの指導を受けました。

①歯ブラシやクルリーナブラシは毎月交換する。②口腔ケアは少なくとも夕食後には必ず行う。③義歯にはポリドントを使用する。の3つのルールを共有し、基本的な口腔ケアの統一に努めました。

健口体操に参加する人を増やす工夫を各ユニットで考えて持ち寄りました。ユニット毎で参加人数に差があったため、食事前のルーティンとなるよう努めました。

口の健康を保つためのケアは、栄養をきちんと摂取でき、誤嚥を防ぎ、会話ができ、QOLを保つためにも大変重要なケアであることの共有が職員間でできるよう2019年度の研修計画を検討しました。

《排泄・褥瘡予防ケアチーム》

『褥瘡ゼロ（今ある方は治す・新しく作らない）』を目標に、ブレーデンスケールやOHスケールを使用して褥瘡発生リスクの評価を行い、個別の注意点を委員会にて確認しました。

施設内研修として看護師長が各ユニットで正しい陰部洗浄方法の実演講習を行いました。

排泄ケアについては、排泄用品の個々の使用状況を調べ、注意点の確認を行いました。リフレサポート講座参加者による伝達研修では、排泄用品を実際に身に着ける事で理解を深めました。

目標であった褥瘡ゼロは維持できましたが、傷のある方は多く、次年度の課題として残っています。

- ・ 委員会開催： 6回/年
- ・ 褥瘡リスクアセスメント： 4階実施（更新を含む）
- ・ 施設内研修の開催
『高齢者のスキンケアと陰部洗浄』（講師：森看護師長）
H30年6月24日（講義）+ 数回に分けて各ユニットでの実演講習
- ・ 外部研修の受講
リフレサポート講座『紙オムツの基礎知識 当て方のポイント』
H30年10月17日及び11月22日 （委員2名参加）

《認知症ケアチーム》

認知症ケア委員会では、不快を減らし快を増やすことや、言葉遣い、不適切ケアについて考えることで、入居者に安心して暮らしてもらうことができるのではないかと考えました。

- ・ 認知症ケアの現状や課題を把握するためのアンケートの実施（H30.6月）
対象： 全スタッフ
認知症ケアの課題を抽出して取り組みを考えました。
アンケート結果をまとめたものを各ユニットに配布して意識の共有を図りました。

- ・委員会内研修の実施

認知症についての正しい知識と理解を深めるため、委員会内での研修を企画・実施しました。平成30年度津山施設研究発表会で発表された、特別養護老人ホーム唐松荘の『認知症高齢者の尊厳に配慮した用語の再検討～どこまでも本人、家族に優しい介護とは～』のDVD視聴研修を行いました。

DVDを観る前は委員会メンバーも納得いかない部分もありましたが、見終わった後は、言葉を変えると職員同士だけではなく、家族との関係も変わっていくことなどが納得でき、次年度はこのDVDを全スタッフに視聴を勧めて高寿園に広めていきたいです。

○ リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会では『ヒヤリハットと事故の区別をつける』『事故の原因を把握する』を年間目標として毎月委員会を開催しました。

毎月実際の事故事例を用いて、事故の原因究明と再発防止対策の検討を行いました。

ヒヤリハット・事故について半年毎に統計を取って、分析と傾向の把握に努めました。

開催日	参加人数	会議内容	開催日	参加人数	会議内容
5月9日	13	今後の取り組みについて H29年度事故統計報告	11月19日	6	事例検討：車椅子から転落。左額に内出血、右大腿部痛みと腫れ(骨折疑いあり)
6月18日	9	ヒヤリハットの基準の検討 ⇒職員への周知	12月17日	6	事例検討：寝たきりの方の排泄ケア時に左ひざ骨折に気づく (H30.4～11月) 事故およびヒヤリハットの統計報告
7月23日	11	事例検討：①午前7時すぎにベットより転落。右脛腓骨折受傷 ②午後16時にベットより転落。けがはなし	1月21日	9	H30年度振り返り H31年度事業計画
8月20日	9	事例検討：異常時に左ひじ外側に表皮隔離を発見する	2月18日	9	事例検討：夜間にベットから転落。右大腿骨転子部骨折受傷
9月18日	7	事例検討：歩行器歩行の方に歩行器を持ったまま立位で待ってもらい、その後転倒。けがなし	3月18日	8	事例検討：夜間にベットから転落。左大腿骨頸部骨折受傷
10月15日	7	事例検討：誤薬。ユニット全員の「夕」の所に「朝」の薬を入れていた。1人服薬した後に気づく			

○ アクティビティ委員会

『生活を活性化させる、楽しみの持てるアクティビティを計画する』を目標に、委員会メンバーを中心に、各部署・各ユニットと協力しながら活動しました。

日々の暮らしに楽しみの持てるよう、ユニットでのアクティビティの一つとして『数字並べゲーム』を各ユニットに配布しました。

クラブ活動の計画においては、講師をボランティアにお願いしたり、職員が行いました。

定期開催の書道クラブでは、初めは戸惑いながら参加していた入居者も、定期的に参加することで次回の参加を楽しみにされています。また、作品を地域の文化祭に出展するなど、生活の活性化・意欲の向上に繋がるように支援しています。

外出支援では、鏡野町の「プラント」までドライブし、買い物や普段食べれない握り寿司を召しあがり、大変喜ばれました。「また行きたい。」とたいへん喜ばれていました。

- ・ アクティビティ委員会会議開催：毎月1回 5名～9名出席

★クラブ・行事 参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
書道						7	27	22	17		12	26	111
絵手紙				24			11						35
クリスマス飾り制作									14				14
おはぎづくり												37	37
外出支援												2	2

○ 食事を考える委員会

毎日提供される食事や行事等においての軽食など「食」に関するアンケートを全職員に実施し、その結果をもとに以下の①～③について委員会で検討しました。

- ① 栄養課での取り組みを提案（メニューについて）
- ② ユニットで取り組んでももらいたいものの提案
- ③ 施設で取り組んでももらいたいものの提案

次年度においても上記の検討を継続し、入居者の個々のニーズに沿える食事やおやつの提供などについて取り組みを具体化して進めたいと思います。

- ・ 委員会開催： 4回

○ 看取りケア委員会

看護師長から「看取りとは」の理解を深めるために研修を行いました。看取りケアマニュアルを作成することを目標に施設での具体的な看取りケアについてユニットから実施していることを提出して会議内で検討しました。実際に看取りカンファレンスに出席してケアの工夫をすることで多職種共有を図ることも出来ました。マニュアルの作成は次年度も継続します、

○ 花と緑いっぱい委員会

入居者の気持ちが安らぐ環境づくりを目的に施設内外の花と緑の育成・管理をしました。植物を育てる楽しみを感じただけでなく、職員とご利用者が一緒にプチトマトの育成をしました。収穫したトマトはユニットでおいしくいただきました。

開催日	参加人数	書面出席	会議内容	開催日	参加人数	書面出席	会議内容
4月26日	9	3	委員会の活動内容 今年度の目標	10月			球根（百合）の植え付け
5月17日	9	1	プチトマトの栽培の準備・ 植え付け	11月22日	8	3	今後の活動について（草 取りと水やりについて） 植え付けた百合の鉢を2 F中庭に移動 収穫後のプチトマトのプ ランター等の後片付け
6月28日	8	3	今後の活動（プチトマト の収穫等について）				
7月24日	6	5	今後の活動（プチトマト の育成・記録について）				
8月22日	8	3	今後の活動（プチトマト の育成の整理について） 園内の草取りと水やりについて	1月31日	8	3	2019年度事業計画
				3月26日	8	3	草取り （2F中庭）